



特集

高校生の進路選択行動はどう変わったか

リクルートでは、今年3月に高校を卒業した関東、関西、東海地区の男女5万人を対象に、高校卒業後の進路と、最終的にその進路に決定するまでの状況についてアンケート調査を行った。ここでは、1999年に行った前回の調査（99年3月卒業者を対象に実施）の結果と比較しながら、大学、短大、専門学校への進学者の進路決定プロセスがどのように変わったのかを見ていく。特に、近年増加しているオープンキャンパス・学校見学会等の学校主催イベントへの参加状況や評価についても詳しく聞いてみた。

リクルート

- ・早まる進路選択行動——高2の夏に2割が志望校訪問
- ・重要度増す学校見学会——参加率は8割超

● 調査概要 ●

■ 調査目的

・高校卒業生に対し、その進路先および決定に至るまでの状況を調査することにより、高校生の進路選択プロセス(行動・意識)を把握する。

■ 調査方法

・質問紙による郵送法

■ 調査対象

・2007年3月高校卒業予定の男女 50,000人
 ・在籍高校所在地は、以下の1都2府5県
 関東→埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知
 関西→京都、大阪、兵庫
 ・平成18年学校基本調査の「全日制・本科、3学年生徒数(県別)」を元に、各県別、男女別の人数比率が一致するよう、リクルートが保有するリストより割りつけて調査。

■ 調査期間

・2007年3月23日(金)～4月9日(月)

■ 有効回答数

・9,872名(回収率19.7%)

～参考 1999年調査～

・調査対象数 40,000人
 ・有効回答数 6,629人(回収率16.6%)
 ※調査対象の割りつけ方法が一部異なります。

● 回答者プロフィール ●

■ 性別(全体/単一回答)

	男子	女子	無回答
2007年 全体 (n=9872)	41.7%	58.1	0.3
1999年 全体 (n=6629)	49.3	50.4	0.3

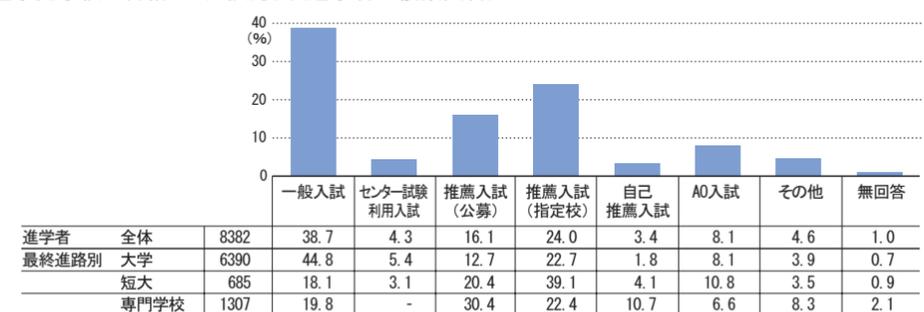
■ 高校所在エリア(全体/単一回答)

	1都3県・計(関東)				2府1県・計(関西)			無回答	
	東京	神奈川	千葉	埼玉	愛知	大阪	兵庫		京都
2007年 全体 (n=9872)	22.3%	14.6	10.1	13.0	11.4	13.5	9.6	4.8	0.6
1999年 全体 (n=6629)	10.3	8.1	17.2	7.1	10.4	23.3	9.2	14.1	0.4

■ 高校卒業後の進路(全体/単一回答)

	大学	短期大学	専門学校	浪人予定	就職(予備校)	予定未定	無回答
2007年 全体 (n=9872)	64.7%	6.9	13.2	8.1	3.8	2.7	0.5
1999年 全体 (n=6629)	43.1	17.0	20.9	9.8	5.9	3.3	-

■ 進学先学校に合格した入試方法(進学者/複数回答) 2007年





進路選択プロセスの変化

1 進路選択の行動時期

- ・高校進路指導の前倒しが影響?
- ・生徒の進路選択行動の“動き出し”が早まる

・大学進学者の進路選択行動

最初に、大学に進学した生徒たちのさまざまな進路選択行動が、高校3年間のどの時期にピークを迎えるのか、いつくらいまでにそれぞれの行動を終えるのかを、99年の調査結果と比較しながら見ていこう。

目立って時期が早まっているものとし

ては、まず『学んでみたい分野を決めた時期』がある(図表1-1)。99年の調査では、ピークを迎えるのは「高校3年4～5月」。この時期に15.6%が決めており、「同8～9月」という者も15.0%いる。高校2年までに決めるのは4割(合計40.4%)程度であった。これが07年になると逆に「高校1年」が最も多く15.3%。こ

れを含め、「高校入学以前」から「高校2年10～3月」までに決めるという者が合計55.0%に達する。

学びたい分野を決める時期が早まれば、当然、それぞれの分野で「どんな学校があるかを調べ始めた時期」も早まる。99年の調査では、そのピークは「高校3年4～5月」(26.5%)で、「同6～7月」(12.0%)、「同8～9月」(13.4%)もそれぞれ1割を超えていた。“学校を探し始めるのは高校3年になってから”というのが当たり前だったわけだが、今回の調査では「高校1年」の段階で19.3

図表1-1 大学進学者(大学進学者/各単一回答)

	調査年	調査数	高校入学以前	高校1年	9月 高校2年4月	3月 高校2年10月	5月 高校3年4月	7月 高校3年6月	9月 高校3年8月	11月 高校3年10月	1月 高校3年12月	高校3年2月	この該当するよう なことはなかつた	無回答
1. 進学か就職かを決めた時期	2007年 1999年	6390 2858	55.2 51.4	23.2 17.0	5.2 7.1	3.9 6.8	3.3 6.3	1.4 2.8	1.1 3.8	0.5 2.2	0.2 1.4	0.1 0.3	5.3 0.7	0.4 0.3
2. 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	2007年 1999年	6390 *	34.2 *	24.1 *	9.7 *	8.0 *	7.7 *	4.5 *	4.5 *	1.8 *	0.9 *	0.4 *	3.9 *	0.4 *
3. 学んでみたい分野を考え始めた時期	2007年 1999年	6390 2858	21.7 16.2	24.6 21.3	17.2 15.7	12.4 13.2	10.6 13.2	5.2 4.7	3.8 6.5	1.6 3.4	0.5 2.0	0.2 0.8	1.7 2.7	0.4 0.5
4. 学んでみたい分野を決めた時期	2007年 1999年	6390 2858	11.2 7.4	15.3 8.6	14.4 10.8	14.1 13.6	14.1 15.6	10.4 9.2	10.7 15.0	4.7 8.8	2.1 5.8	0.5 1.4	2.0 3.3	0.4 0.5
5. 文系か理系かを決めた時期	2007年 1999年	6390 *	21.3 *	47.5 *	11.6 *	7.2 *	3.5 *	1.7 *	1.5 *	0.6 *	0.2 *	— *	4.3 *	0.5 *
6. どんな学校があるかを調べ始めた時期	2007年 1999年	6390 2858	3.1 0.9	19.3 8.3	23.7 10.6	17.0 15.4	17.0 26.5	9.3 12.0	4.5 13.4	1.7 6.1	0.6 3.4	0.1 0.7	3.4 2.1	0.5 0.6
7. 興味を持った学校の資料請求をした時期	2007年 1999年	6390 2858	1.0 0.3	9.2 2.9	18.3 6.4	14.0 9.2	18.7 19.8	15.1 17.6	9.9 19.4	4.5 10.2	2.0 3.6	0.2 0.3	6.7 9.7	0.5 0.5
8. 受験する科目を決めた時期	2007年 1999年	6390 *	1.1 *	6.9 *	10.3 *	14.2 *	18.7 *	12.9 *	12.7 *	6.9 *	3.9 *	0.3 *	11.0 *	1.0 *
9. 三者面談など、個別の進路指導が最初に行われた時期	2007年 1999年	6390 2858	3.4 1.4	30.5 20.5	13.3 9.7	9.5 9.4	15.9 21.8	14.8 20.2	4.5 6.7	1.8 2.9	0.8 0.9	0.1 0.2	4.3 5.3	1.1 0.8
10. 最終的に入学した学校に関心を持った時期	2007年 1999年	6390 *	3.1 *	6.9 *	9.2 *	8.4 *	11.3 *	13.4 *	17.7 *	10.9 *	8.7 *	6.0 *	3.7 *	0.7 *
11. 第一志望の学校を受験校に決めた時期	2007年 1999年	6390 2858	2.2 3.0	5.6 4.1	8.1 4.4	8.5 6.6	13.3 12.7	15.3 23.6	23.2 17.9	11.2 12.1	8.3 1.4	1.2 1.4	2.4 1.1	0.7 0.4
12. 最終的な入学校を決めた時期	2007年 1999年	6390 2858	0.7 0.2	1.2 0.4	1.3 0.4	2.0 0.7	3.1 1.9	4.9 2.8	11.1 9.6	14.6 16.7	9.8 13.9	44.8 50.0	5.4 1.3	1.2 2.1
13. 将来の仕事について考え始めた時期	2007年 1999年	6390 2858	20.2 16.2	14.1 7.7	8.2 5.0	7.4 6.8	8.2 9.6	5.3 6.8	6.1 6.5	4.1 5.7	3.0 4.5	5.3 8.0	17.0 25.3	1.2 1.4

項目別に最もポイントが高い 項目別に2～3番目にポイントが高い ※「*」は該当選択肢なし

図表1-2 短大進学者(短大進学者/各単一回答)

	調査年	調査数	高校入学以前	高校1年	9月 高校2年4月	3月 高校2年10月	5月 高校3年4月	7月 高校3年6月	9月 高校3年8月	11月 高校3年10月	1月 高校3年12月	高校3年2月	この該当するよう なことはなかつた	無回答
1. 進学か就職かを決めた時期	2007年 1999年	685 1130	44.1 39.0	27.4 19.5	6.6 7.3	6.1 8.6	4.5 8.8	3.6 5.3	1.6 7.0	1.0 2.8	0.4 0.4	0.1 0.1	3.6 0.3	0.7 1.0
2. 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	2007年 1999年	685 *	5.8 *	13.6 *	— *	11.1 *	15.0 *	13.4 *	14.5 *	4.2 *	2.9 *	2.0 *	1.3 *	1.0 *
3. 学んでみたい分野を考え始めた時期	2007年 1999年	685 1130	28.5 24.2	19.3 15.4	13.3 13.5	11.8 16.0	10.9 12.7	7.9 6.3	3.5 6.9	1.5 1.8	0.1 0.7	0.1 0.2	2.2 1.4	0.9 1.0
4. 学んでみたい分野を決めた時期	2007年 1999年	685 1130	16.9 11.9	16.2 7.8	13.0 9.1	8.9 11.5	13.9 17.8	12.1 13.2	9.3 16.4	3.4 6.9	2.0 1.9	0.3 0.6	3.2 1.9	0.7 1.1
5. 文系か理系かを決めた時期	2007年 1999年	685 *	16.9 *	37.1 *	10.2 *	7.0 *	4.4 *	2.2 *	1.5 *	0.9 *	0.6 *	— *	17.5 *	1.8 *
6. どんな学校があるかを調べ始めた時期	2007年 1999年	685 1130	2.5 0.5	16.4 9.4	25.7 12.8	16.9 18.8	18.7 27.7	9.9 14.2	5.1 9.7	1.9 4.2	0.1 0.6	— *	1.9 1.1	0.9 1.0
7. 興味を持った学校の資料請求をした時期	2007年 1999年	685 1130	0.6 0.1	11.1 3.0	18.7 8.4	14.0 10.7	19.6 21.9	18.4 25.3	9.2 19.4	2.8 5.4	0.4 0.4	0.1 0.1	4.2 4.2	0.9 1.1
8. 受験する科目を決めた時期	2007年 1999年	685 *	0.7 *	3.9 *	6.4 *	7.3 *	14.3 *	17.4 *	14.6 *	6.4 *	2.8 *	0.3 *	23.8 *	2.0 *
9. 三者面談など、個別の進路指導が最初に行われた時期	2007年 1999年	685 1130	2.6 1.0	28.3 19.3	12.4 8.9	9.1 8.6	19.7 26.5	15.2 20.2	5.7 7.9	1.0 2.2	1.0 0.3	0.1 0.3	2.9 2.7	1.9 2.3
10. 最終的に入学した学校に関心を持った時期	2007年 1999年	685 *	2.8 *	5.8 *	7.6 *	9.1 *	12.3 *	18.5 *	19.9 *	9.6 *	5.8 *	4.2 *	3.2 *	1.2 *
11. 第一志望の学校を受験校に決めた時期	2007年 1999年	685 1130	1.3 1.9	3.4 2.0	6.0 3.5	8.0 4.2	13.4 12.3	20.9 18.2	29.1 37.5	9.9 15.3	4.5 3.3	0.6 0.2	1.9 0.7	1.0 0.9
12. 最終的な入学校を決めた時期	2007年 1999年	685 1130	0.4 0.4	1.6 0.2	2.2 0.3	3.5 1.2	6.3 3.4	11.1 8.8	20.3 26.5	8.3 29.3	10.8 10.8	8.3 15.4	15.6 15.4	9.8 1.2
13. 将来の仕事について考え始めた時期	2007年 1999年	685 1130	27.3 21.1	13.0 5.9	7.3 5.8	7.9 6.6	10.8 9.5	7.3 4.9	6.9 9.9	3.5 9.8	3.1 3.5	2.8 6.5	8.6 15.1	1.6 1.4

項目別に最もポイントが高い 項目別に2～3番目にポイントが高い ※「*」は該当選択肢なし

図表1-3 専門学校進学者(専門学校進学者/各単一回答)

	調査年	調査数	高校入学以前	高校1年	9月 高校2年4月	3月 高校2年10月	5月 高校3年4月	7月 高校3年6月	9月 高校3年8月	11月 高校3年10月	1月 高校3年12月	高校3年2月	この該当するよう なことはなかつた	無回答
1. 進学か就職かを決めた時期	2007年 1999年	1307 1384	38.9 31.4	25.7 16.8	7.6 11.6	7.3 10.4	5.6 8.7	3.6 5.9	3.4 7.4	1.4 3.2	1.1 1.8	0.3 0.7	4.0 0.9	1.2 1.3
2. 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	2007年 1999年	1307 *	9.0 *	14.2 *	14.3 *	12.7 *	11.3 *	10.6 *	15.5 *	5.4 *	2.8 *	1.8 *	0.9 *	1.4 *
3. 学んでみたい分野を考え始めた時期	2007年 1999年	1307 1384	31.8 25.4	18.5 15.2	14.9 14.2	11.5 12.1	9.3 10.9	4.9 6.9	4.3 6.7	1.1 1.8	0.4 1.0	0.3 0.5	1.3 3.8	1.8 1.6
4. 学んでみたい分野を決めた時期	2007年 1999年	1307 1384	18.6 12.9	14.2 9.2	13.2 9.7	12.2 13.7	11.6 14.3	11.0 11.1	9.9 13.2	4.1 6.2	1.2 2.7	0.6 1.6	1.4 3.8	2.0 1.7
5. 文系か理系かを決めた時期	2007年 1999年	1307 *	13.5 *	31.4 *	8.4 *	5.6 *	2.1 *	1.8 *	1.3 *	0.7 *	0.3 *	0.2 *	29.2 *	5.7 *
6. どんな学校があるかを調べ始めた時期	2007年 1999年	1307 1384	3.8 1.6	16.1 7.7	22.2 11.3	16.0 16.2	18.1 27.0	11.9 14.9	5.4 12.2	1.8 4.4	0.5 1.7	0.5 0.7	1.8 1.0	2.0 1.4
7. 興味を持った学校の資料請求をした時期	2007年 1999年	1307 1384	1.8 0.4	11.4 3.5	19.4 5.8	13.9 11.1	16.7 19.9	17.4 24.6	9.1 21.4	3.1 6.6	0.8 2.1	0.5 0.7	3.5 2.9	2.2 1.2
8. 受験する科目を決めた時期	2007年 1999年	1307 *	1.1 *	3.4 *	5.6 *	6.6 *	10.3 *	10.6 *	17.5 *	6.4 *	1.4 *	0.5 *	31.5 *	5.0 *
9. 三者面談など、個別の進路指導が最初に行われた時期	2007年 1999年	1307 1384	4.4 1.1	26.4 15.5	13.6 9.5	8.6 9.6	14.8 25.0	16.1 19.5	5.4 7.7	1.5 3.3	0.5 0.7	0.2 0.1	5.7 5.2	2.8 2.7
10. 最終的に入学した学校に関心を持った時期	2007年 1999年	1307 *	1.9 *	5.3 *	7.8 *	9.3 *	10.8 *	17.2 *	24.3 *	10.3 *	4.6 *	4.1 *	2.2 *	2.3 *
11. 第一志望の学校を受験校に決めた時期	2007年 1999年	1307 1384	1.3 0.9	2.3 1.4	4.7 2.2	6.4 5.2	10.9 10.9	16.4 17.0	34.7 39.7	12.3 14.2	4.9 4.9	1.4 1.8	2.4 0.7	2.4 1.2
12. 最終的な入学校を決めた時期	2007年 1999年	1307 1384	1.0 0.2	1.1 —	2.1 0.2	3.4 1.2	5.0 4.6	10.0 7.9	24.4 30.8	22.2 26.2	9.0 10.8	9.8 13.9	8.9 0.9	3.1 3.3
13. 将来の仕事について考え始めた時期	2007年 1999年	1307 1384	28.5 22.8	15.1 7.6	8.7 5.6	8.1 8.9	8.9 11.1	6.6 7.7	7.6 10.3	3.7 7.7	2.8 4.5	2.9 5.5	4.9 6.9	2.2 1.4

項目別に最もポイントが高い 項目別に2～3番目にポイントが高い ※「*」は該当選択肢なし

%,「高校2年4~9月」の段階で23.7%が調べ始めている。「同10~3月」までの累計は63.1%。多くは高校3年になる前に調べ始めていることがわかる。

それに呼応して『興味を持った学校の資料請求をした時期』も早くなっている。ピークは、99年(19.8%),07年(18.7%)ともに「高校3年4~5月」だが、07年の調査では、高校1年の段階で合計10.2%が、3年になる前の段階で合計42.5%が、それぞれ資料請求をしている。この割合は99年の調査では18.8%だから23.7ポイントも増えたことになる。

こうした結果、『第一志望の学校を受験校に決めた時期』も前倒しされるようになった。ここでも、ピークは、99年(23.6%),07年(23.2%)ともに「高校3年8~9月」だが、その前まで、つまり3年の夏休み前までに決めている割合を比較すると、99年の43.4%に対して07年は53.0%と5割を超えている。

このように進路選択行動の時期が早まっているのはどうしてか。さまざまな理由があるだろうが、一つ考えられるのは、高校の進路指導が早め早めに行われるようになってきていることだろう。アンケートでも『三者面談など、個別の進路指導が最初に行われた時期』を聞いているが、99年の調査では「高校3年4~5月」がピーク(21.8%)だったが、07年になると、「高校1年」(30.5%)が最も多く、3割に達している。また、6割近い(合計56.7%)生徒が高校2年までに個別の進路指導を経験している。情報提供など大学から高校生、大学から進路指導担当者への働きかけも早めに行うことが大切になってきているということだろう。

・短大進学者の進路選択行動

短大に進学した生徒たちの進路選択行動を見ると、ほぼ大学進学者と同様の行動パターンとなっている。異なっ

ている点としては、『学んでみたい分野を決めた時期』『最終的な入学校を決めた時期』が大学に比べ早い動きとなっている。特に『最終的な入学校を決めた時期』のピークが早まっているのは大学に比べてAO入試や推薦入試での入学者の割合が多いことが考えられる。

・専門学校進学者の進路選択行動

専門学校に進学した生徒たちの進路選択行動についても、ほぼ大学進学者、短大進学者と同様の行動パターンとなっている。特徴としては、『進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期』のピークが「高校3年の8~9月」と大学、短大進学者に比べて遅く、高校1年生、2年生の前半で決める生徒と2つの山を作っている。

2 進路選択行動に影響を与えるもの

- ・時期によってメディアの“役割”は異なる
- ・最終絞り込み段階で大きい学校見学会の影響

学校案内や自宅に送られてくる進学情報誌。高校の先生、友人、あるいは家族からのアドバイス。オープンキャンパスや学校説明会などのイベント。高校生はさまざまなメディアを利用して、自分自身の進路を決めていく。ここでは、そんな高校生の進路選択行動の各場面において、どのようなメディアが影響を与えているのかを見ていく。

・大学進学者に影響を与えているもの

図表2-1のとおり、大学進学者に影響を与えているメディアとしては「学校案内やパンフレット」「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」「高校の先生からの情報やア

ドバイス」「家族からの情報やアドバイス」「オープンキャンパス・学校見学会」の大きく5つがある。5つとも、各場面で一定以上の影響を与えているが、それぞれの“役割”には若干の違いがある。

まず「学校案内やパンフレット」は『学んでみたい分野を決めた時期』(16.6%)や『どんな学校があるかを調べ始めた時期』(28.6%),『最終的に入学した学校に関心を持った時期』(22.8%)などに役立っている。

一方、これと微妙に重なっているのが「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」。『学んでみたい分野を考え始めた時期』(15.3%),『どんな学校があるかを調べ始めた時期』

(33.2%),『興味を持った学校の資料請求をした時期』(28.4%)などで役立っている。「学校案内やパンフレット」と同様に、多少なりとも関心のある学問分野や学校について比較検討するための基本情報をそこに求めているものと思われるが、それぞれの数値の動きを比べると、まずは「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」を使って複数の分野、複数の学校を比較検討し、そのあとで「学校案内やパンフレット」で個別の学校を深く調べる傾向にあることがわかる。

「高校の先生からの情報やアドバイス」については、『文系か理系かを決めた時期』(16.8%),『受験する科目を決めた時期』(22.6%)など科目選択が必要な際に頼っている。『最終的な入学校を決めた時期』(14.9%)では、推薦入試やAO入試で出願する際に頼っていることがわかる。

図表2-1 進路選択時の影響メディア (大学進学者/各複数回答)

	調査数	学校案内やパンフレット	高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌	書店で買った進学情報誌	書店で買った本	高校の先生が作った資料	塾・予備校で配布された資料	高校の先生からの情報やアドバイス	塾・予備校の先生からの情報やアドバイス	友人・先輩からの情報やアドバイス	家族からの情報やアドバイス	学校内で行われた進学情報イベント	学校外で行われた進学情報イベント	オープンキャンパス・学校見学会	新聞広告	テレビ・ラジオ	(パソコン)	各学校のホームページ(携帯)	進学情報サイト(パソコン)	進学情報サイト(携帯)	ブログやSNS	その他	特になかった	無回答
1. 進学か就職かを決めた時期	6024	7.8	4.7	0.2	0.4	0.7	0.5	8.4	2.5	5.6	26.9	0.8	0.2	1.3	0.1	0.8	0.9	—	0.9	0.1	0.1	2.5	43.6	1.9
2. 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	6115	11.5	9.4	0.5	0.4	1.2	0.9	13.5	4.0	7.0	24.1	1.3	0.6	4.1	—	0.6	2.2	0.1	1.5	0.2	0.1	2.3	33.3	2.0
3. 学んでみたい分野を考え始めた時期	6257	13.4	15.3	1.0	2.4	1.9	1.2	14.1	3.6	7.4	12.9	2.3	0.5	4.4	0.3	2.8	2.7	0.2	3.1	0.2	0.2	6.3	24.6	2.4
4. 学んでみたい分野を決めた時期	6236	16.6	14.0	1.0	2.2	1.5	1.7	16.1	5.3	7.0	12.6	2.0	0.9	7.4	0.2	1.9	4.4	0.4	3.3	0.4	0.2	5.4	21.9	2.5
5. 文系か理系かを決めた時期	6084	6.2	5.9	0.6	0.6	2.2	0.7	16.8	3.1	5.3	9.2	1.2	0.3	1.2	—	0.2	1.3	0.1	1.5	0.1	0.1	6.3	45.4	2.8
6. どんな学校があるかを調べ始めた時期	6145	28.6	33.2	2.5	1.5	3.5	3.4	15.9	5.4	6.3	6.9	2.9	2.5	7.4	0.3	0.2	12.1	0.8	8.8	1.2	0.1	0.9	6.6	2.2
7. 興味を持った学校の資料請求をした時期	5929	20.7	28.4	1.1	0.5	1.4	2.3	11.5	4.1	4.2	6.1	2.4	2.2	6.8	0.6	0.1	13.1	0.8	9.1	1.9	0.1	0.8	10.2	2.6
8. 受験する科目を決めた時期	5623	14.8	9.9	1.1	1.0	1.7	2.4	22.6	11.5	5.3	5.9	1.2	0.6	4.2	0.1	0.1	6.0	0.2	3.0	0.4	0.1	2.7	24.5	3.0
9. 三者面談など、個別の進路指導が最初に行われた時期	6045	5.2	5.7	0.3	0.2	3.1	0.6	27.8	3.0	1.7	4.3	0.9	0.3	1.1	0.1	—	1.2	0.1	1.6	0.1	—	1.0	44.3	7.3
10. 最終的に入学した学校に関心を持った時期	6110	22.8	10.2	1.0	0.7	1.2	1.5	16.4	6.0	8.8	9.9	2.0	1.4	19.8	0.3	0.2	12.5	0.6	3.6	0.7	0.2	1.6	11.1	2.9
11. 第一志望の学校を受験校に決めた時期	6193	20.6	9.1	1.1	0.8	1.3	1.9	20.0	8.3	7.6	12.3	1.7	1.1	20.7	0.1	0.2	10.2	0.5	3.1	0.6	0.2	2.1	13.3	3.2
12. 最終的な入学校を決めた時期	5970	11.8	3.8	0.5	0.4	0.6	0.6	14.9	5.2	5.6	13.2	0.8	0.4	8.7	0.1	0.1	6.1	0.5	2.2	0.3	0.3	4.7	35.6	5.6
13. 将来の仕事について考え始めた時期	5231	8.0	9.0	0.6	3.2	1.1	0.9	9.6	3.1	7.5	15.8	1.6	0.6	3.3	0.7	4.0	3.2	0.2	3.3	0.4	0.6	7.1	32.6	4.4

■ 項目別に最もポイントが高い ■ 項目別に2~5番目にポイントが高い

図表2-2 進路選択時の影響メディア（短大進学者／各複数回答）

	調査数	学校案内やパンフレット	高校でもらった進学情報誌	書店で買った進学情報誌	書店で買った本	高校の先生が作った資料	塾・予備校で配布された資料	高校の先生からの情報やアドバイス	塾・予備校の先生からの情報やアドバイス	友人・先輩からの情報やアドバイス		家族からの情報やアドバイス	学校内で行われた進学情報イベント	学校外で行われた進学情報イベント	オープンキャンパス・学校見学会	新聞広告	CM	テレビ・ラジオ	各学校のホームページ（携帯）	各学校のホームページ（パソコン）	進学情報サイト（パソコン）	進学情報サイト（携帯）	ブログやSNS	その他	特になかった	無回答
1. 進学か就職かを決めた時期	655	9.2	7.0	0.3	—	2.1	0.9	9.0	1.8	8.7		26.1	2.6	—	2.3	0.2	0.6	1.4	0.2	1.4	0.2	0.2	3.4	35.9	2.1	
2. 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	669	22.4	15.2	0.9	0.7	1.9	0.1	22.1	3.1	9.4		22.7	1.6	1.6	12.7	0.3	—	5.4	0.1	3.9	0.4	0.1	2.7	10.8	1.9	
3. 学んでみたい分野を考え始めた時期	664	15.8	16.3	0.3	1.7	1.1	0.5	9.8	2.0	5.9		13.9	2.1	1.2	5.1	0.3	2.1	3.5	0.5	4.4	0.6	—	9.5	22.7	3.5	
4. 学んでみたい分野を決めた時期	658	20.1	13.7	0.2	0.8	0.8	0.3	12.5	2.1	6.2		14.9	2.1	1.4	9.0	—	1.5	5.8	0.8	5.3	0.9	—	7.9	20.2	3.2	
5. 文系か理系かを決めた時期	553	6.5	7.8	0.2	1.1	2.5	—	16.6	2.9	5.4		8.5	0.7	0.4	1.6	—	0.2	2.0	0.5	2.7	0.2	—	4.7	43.9	2.9	
6. どんな学校があるかを調べ始めた時期	666	30.6	38.1	1.4	1.1	2.9	0.9	13.7	3.8	6.0		6.8	5.0	3.2	7.2	0.2	0.5	14.3	1.2	11.4	1.4	0.3	1.1	4.5	2.1	
7. 興味を持った学校の資料請求をした時期	650	19.5	30.0	0.8	0.8	1.4	0.9	11.2	3.2	6.2		6.5	2.3	2.9	7.1	0.3	0.3	14.5	1.5	11.1	2.6	0.2	1.1	8.5	3.4	
8. 受験する科目を決めた時期	508	17.9	10.0	0.8	0.6	2.8	0.2	23.6	8.7	4.5		6.7	0.8	0.8	8.3	—	0.2	6.3	0.6	3.1	0.2	—	2.0	18.9	3.3	
9. 三者面談など個別の進路指導が最初に行われた時期	652	7.1	5.5	—	0.3	3.5	0.2	27.6	1.8	2.6		5.7	0.5	0.3	1.4	—	—	1.7	0.5	1.5	0.2	—	1.7	41.9	7.5	
10. 最終的に入学した学校に関心を持った時期	655	21.2	9.8	0.5	0.6	1.2	0.6	13.9	2.6	7.9		10.1	1.5	1.5	30.2	0.3	—	10.4	1.2	3.8	1.1	0.3	2.1	9.5	3.8	
11. 第一志望の学校を受験校に決めた時期	665	21.1	8.3	0.5	0.6	0.8	0.5	16.4	3.8	7.7		13.1	2.0	1.5	36.7	0.5	—	10.1	0.6	3.9	0.8	0.3	1.8	8.9	4.4	
12. 最終的な入学校を決めた時期	605	13.7	6.4	0.7	0.5	1.0	0.7	15.5	1.3	4.5		12.1	1.2	0.7	24.0	—	0.2	6.1	0.5	2.5	0.5	0.2	3.0	23.5	7.6	
13. 将来の仕事について考え始めた時期	615	10.2	8.5	0.8	1.8	0.8	—	7.6	1.0	9.8		14.5	2.4	0.7	4.2	0.5	3.4	2.9	—	4.2	0.5	0.3	9.9	30.6	6.0	

■ 項目別に最もポイントが高い ■ 項目別に2～5番目にポイントが高い

図表2-3 ■進路選択時の影響メディア（専門学校進学者／各複数回答）

	調査数	学校案内やパンフレット	高校でもらった進学情報誌	書店で買った進学情報誌	書店で買った本	高校の先生が作った資料	塾・予備校で配布された資料	高校の先生からの情報やアドバイス	塾・予備校の先生からの情報やアドバイス	友人・先輩からの情報やアドバイス		家族からの情報やアドバイス	学校内で行われた進学情報イベント	学校外で行われた進学情報イベント	オープンキャンパス・学校見学会	新聞広告	CM	テレビ・ラジオ	各学校のホームページ（携帯）	各学校のホームページ（パソコン）	進学情報サイト（パソコン）	進学情報サイト（携帯）	ブログやSNS	その他	特になかった	無回答
1. 進学か就職かを決めた時期	1239	10.4	9.0	0.2	0.6	0.5	0.2	8.2	0.4	6.2		17.4	1.9	0.6	3.1	—	2.1	2.0	0.1	2.0	0.4	0.2	3.3	40.2	2.4	
2. 進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期	1277	19.7	16.7	0.4	1.6	0.9	0.8	12.7	1.3	8.9		14.6	3.4	2.1	13.9	0.1	0.8	4.9	0.3	3.6	0.6	0.3	3.3	17.9	2.5	
3. 学んでみたい分野を考え始めた時期	1267	14.2	15.6	0.2	1.7	1.1	0.5	5.7	0.2	7.3		13.9	3.2	1.5	6.1	0.3	3.8	3.5	—	3.1	0.4	0.2	8.5	24.8	3.0	
4. 学んでみたい分野を決めた時期	1263	16.4	14.8	0.2	1.3	0.5	0.3	7.0	0.3	7.4		14.9	4.0	1.8	9.9	0.2	2.7	5.3	0.3	3.9	0.6	0.4	7.2	19.2	3.3	
5. 文系か理系かを決めた時期	852	6.7	6.1	0.1	0.2	1.4	0.1	16.5	1.8	7.2		8.6	1.5	—	1.2	—	0.5	1.3	0.2	1.4	0.2	—	6.8	43.2	3.6	
6. どんな学校があるかを調べ始めた時期	1257	32.6	34.4	1.4	1.0	2.0	1.3	10.1	0.7	6.8		6.1	6.1	4.1	8.8	0.2	0.6	15.4	1.0	10.3	1.8	0.2	1.1	6.4	2.9	
7. 興味を持った学校の資料請求をした時期	1232	22.4	31.3	1.1	0.8	1.1	1.0	7.3	0.7	4.7		3.9	3.6	3.2	6.3	0.3	0.9	18.1	1.2	9.8	1.9	—	1.1	8.6	3.6	
8. 受験する科目を決めた時期	830	19.0	10.7	0.6	0.8	0.5	1.4	12.4	3.4	4.6		5.3	2.0	0.6	13.9	0.1	0.2	9.6	0.5	2.9	0.6	—	3.3	20.0	4.6	
9. 三者面談など個別の進路指導が最初に行われた時期	1196	6.5	6.0	0.2	0.1	1.9	0.3	20.5	0.8	1.4		4.0	1.4	0.7	1.6	0.2	0.3	1.6	0.3	2.8	0.2	0.1	2.6	42.8	12.1	
10. 最終的に入学した学校に関心を持った時期	1248	20.0	9.4	0.6	0.7	0.6	0.8	8.0	1.3	6.8		6.6	3.2	1.8	33.6	0.1	0.6	13.3	0.6	4.5	0.6	—	2.0	10.3	5.0	
11. 第一志望の学校を受験校に決めた時期	1244	18.9	7.1	0.2	0.8	0.4	0.6	11.7	1.6	7.2		8.8	2.3	1.8	39.4	0.2	0.4	11.9	0.8	3.4	0.7	0.1	1.8	9.9	4.7	
12. 最終的な入学校を決めた時期	1151	14.2	5.8	0.1	0.6	0.3	0.3	9.8	1.3	5.4		9.4	1.6	1.2	30.1	0.3	0.6	8.2	0.5	3.0	0.5	0.3	3.1	22.2	6.2	
13. 将来の仕事について考え始めた時期	1214	9.7	8.3	0.4	2.2	0.5	0.1	6.4	0.4	6.8		15.8	1.8	0.7	6.7	0.2	4.0	3.5	0.2	3.3	0.5	0.4	8.5	28.8	6.6	

■ 項目別に最もポイントが高い ■ 項目別に2～5番目にポイントが高い

「家族からの情報やアドバイス」が影響を与えているのも、何らかの“決断”のシーンにおいてである。しかし、「高校の先生からの情報やアドバイス」と違い、『進学か就職かを決めた

時期』(26.9%)、『進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期』(24.1%)、『将来の仕事について考え始めた時期』(15.8%)など、人生を大きく左右するような

テーマのときに、助言を求めている。「オープンキャンパス・学校見学会」は『第一志望の学校を受験校に決めた時期』(20.7%)で影響が大きく、最終的な絞り込み段階で大きな役

割を果たしている。

・短大進学者に影響を与えたもの
短大進学者の場合も、図表2-2のとおり、大学進学者と同様に「学校案

内やパンフレット」「高校でもらったり、自宅に届いた進学情報誌」「高校の先生からの情報やアドバイス」「オープンキャンパス・学校見学会」の5つが、ほと

んどの項目で上位に挙がっている。なかでも「高校でもらったり、自宅に届いた進学情報誌」について、『どんな学校があるかを調べ始めた時期』において4割近く(38.1%)が挙げて

いることが目立つ。

そうしたなか大学進学者と異なるのは、「オープンキャンパス・学校見学会」の影響力である。短大進学者について見ると、『最終的に入学した学校に関心を持った時期』(30.2%)と『第一志望の学校を受験校に決めた時期』(36.7%)においては3割以上が、『最終的な入学校を決めた時期』においては4人に1人(24.0%)が影響を受けたと考えている。いずれも進路選択の極めて大切な場面。そこでキーを握っているのがオープンキャンパスであり、学校見学会である。

・専門学校進学者に影響を与えたもの

専門学校進学者の場合(図表2-3)は、短大進学者以上に「オープンキャンパス・学校見学会」が影響力を持っている。なかでも『最終的に入学した学校に関心を持った時期』(33.6%)、『第一志望の学校を受験校に決めた時期』(39.4%)、『最終的な入学校を決めた時期』(30.1%)の3つでは3割を超えている。また、この3つほどではないが、『進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期』においても、13.9%が「オープンキャンパス・学校見学会」に影響されたと回答している。

逆に、それほど影響力がないのは「高校の先生からの情報やアドバイス」と「家族からの情報やアドバイス」である。たとえば、大学進学者は『学んでみたい分野を考え始めた時期』や『学んでみたい分野を決めた時期』

において、それぞれ14.1%、16.1%が「高校の先生からの情報やアドバイス」の影響を受けたと回答しているが、専門学校進学者の場合はそれぞれ5.7%、7.0%にとどまっている。むしろ、その時期に頼りにしているのは「学校案内やパンフレット」や「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」である。また、『進学先を大学・短大・専門学校などのどれにするかを決めた時期』においては、大学進学者の24.1%が「家族からの情報やアドバイス」の影響を受けているが、専門学校進学者の場合は14.6%にとどまっている。やはり、ここでも頼りにしているのは「学校案内やパンフレット」(19.7%)や「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」(16.7%)である。このように、専門学校進学者の場合は、高校の先生や家族にはあまり頼らず、学校案内やパンフレット、無料の進学情報誌を参考に自分で考えたり、オープンキャンパスや学校見学会に足を運んで自分の目で確かめて最終決断したりする傾向が強い。

3 希望進路の変更時期と変更理由
 ・「大学」と決めれば最後まで貫く生徒が増える
 ・「専門→大学」の理由は、学歴重視と家族の勧め

・希望進路の変更状況

図表3-1と3-2は、高校入学時から最終進路決定に至るまでの進路希望の変化を時系列で追ったものである。高校入学時に「進路を決めていなかった」という者が、時が経つにつれ何らかの進路を選択していく一方で、いったんは大学進学に

・情報源としての携帯電話は活用はこれから

このほか、インターネットや携帯電話から得られる情報については、進学先による違いはほとんど見られなかった。比較的影響力があるのは「各学校のホームページ(パソコン)」、『どんな学校があるかを調べ始めた時期』、『最終的に入学した学校に関心を持った時期』などいくつかの時期において、1割を超える回答を得ている。「進学情報サイト(パソコン)」と『どんな学校があるかを調べ始めた時期』、『興味を持った学校の資料請求をした時期』では1割前後が活用している。

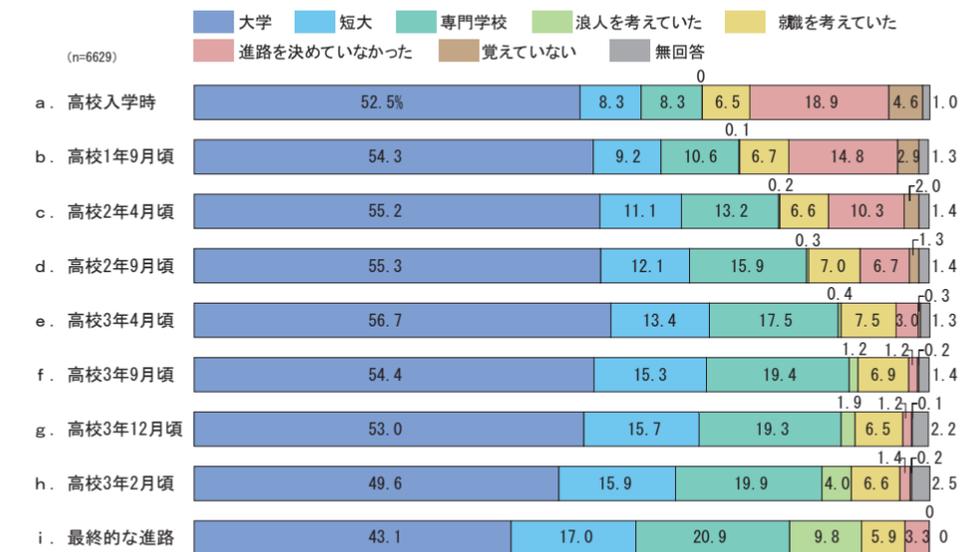
一方、同じホームページや進学情報サイトでも、携帯電話となると、影響力はまだまだ低い。進学先に関係なく、大半が1パーセント未満だが、携帯電話所有の低年齢化、通信料金の定額化など変化が激しく、情報源としての携帯電話の活用はこれからといえる。

決めていた者が、しばらくして短大や専門学校に進路を変えたり、あるいは逆の進路変更がなされたりしながら、最終的な進路決定へとたどり着いていることがわかる。たとえば、図表3-1によって大学進学希望者を見ると、最もその割合が多くなるのは「高校3年4月頃」の74.1%。「高校

図表3-1 希望進路の移り変わり 2007年(全体/各単一回答)



図表3-2 参考) 希望進路の移り変わり 1999年(全体/各単一回答)



入学時」(66.1%)より8.0ポイント増えている。その後、進路を変更したり、浪人を選んだりして、最終的に66.6%が大学に進学している。最も多かった高校3年4月頃と比べると7.5ポイント減ったことになる。これに対して、高校入学時に、それぞれ2.8%、7.6%だった短大と専門学校

への進学希望は一度も低下することなく、最終的には7.0%、13.5%まで増えている。

こうした変化を99年の調査結果と比較してみる。

注目したいのは、07年は大学進学希望者のピークとなる高校3年4月頃からの減少幅が99年よりも小さく

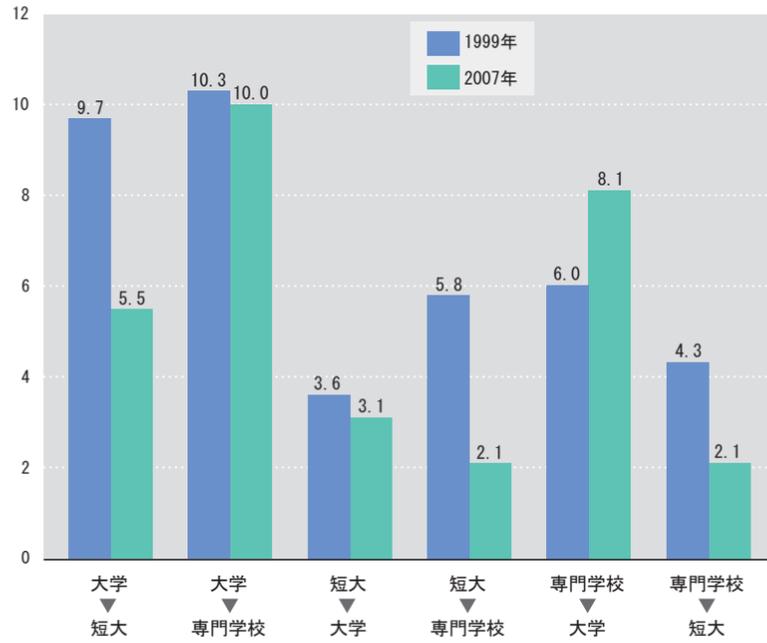
なっていること。99年は56.7%から最終的には43.1%へと13.6ポイント低下したが、07年は7.5ポイントの低下にとどまっている。いったん大学進学を決めた者の多くが、進路変更することなく、希望を貫いているわけである。かつては学力不足などを理由に、大学から短大や専門学校に進路変更を余儀なくされていた層が、全入化によって、そのまま希望を維持できているともいえる。

実際、短大と専門学校について見ると、99年は高校3年の4月頃から最終進路が決定するまでに、それぞれ3.6ポイント、3.4ポイント増えていたが、07年は2.1ポイント、1.5ポイントの増加にとどまっている。

一方、図表4は、高校入学時から卒業までに、①大学から短大または専門学校、②短大から大学または専門学校、

③専門学校から大学または短大、へと進路変更した者の割合を99年と07年とで比較したものである。“変更あり”の数値を見ると、99年に9.7%あった大学から短大への進路変更は07年に5.5%へと大幅減、大学から専門学校への進路変更は10.3%から10.0%へとほぼ横ばいである

図表4 希望進路変更者の割合1999-2007比較



のに対して、専門学校から大学への進路変更は6.0%から8.1%へと2.1ポイント増えている。短大や専門学校の側から見ると、大学進学希望者を振り向かせることはかなり難しくなっており、逆に大学に志願者を奪われるケースが増えてきていると言えそうだ。

・希望進路の変更理由

次に、先に挙げたような希望進路の変更の理由を図表5-1～5-6によって時系列で見ていこう。

まず、大学から短大へと進路を変更しているケース(図表5-1)では、高校入学時から高校2年の4月くらいまでの時期に変更した者の変更理

由として最も多いのは「学生生活は短くていいと思った」。続く高校2年の4月から高校3年の4月にかけて変更した場合は「仕事に役立つ知識や技術が身に付くと思った」が最も多く、多少なりとも自分のキャリアを考えた進路変更をしていることがわかる。しかし、高校3年になると、「自分の学力に合わせた」、さらに、夏休みを過ぎると、「受験の結果が不合格であった」が多くを占め、学力不足などが原因で進路を変更していることがわかる。

一方、同じく大学からの進路変更でも専門学校への変更の場合は、短大とは若干様子が異なる(図表5-2)。まず、高校入学時から高校2

年の夏休み後までの進路変更の理由としては、4割前後の生徒が「新しい分野に興味を持った」と回答している。そして、高校3年の4月から12月くらいになると「仕事に役立つ知識や技術が身に付くと思った」、最後に高校3年の12月を過ぎると、「受験の結果が不合格であった」が最も多くなる。短大への進路変更と違い、「自分の学力に合わせた」という回答が比較的少ないのが特徴だ。

短大から大学への進路変更についてはこれといった決定的な理由がない(図表5-3)。時期に関係なく上位を占めているのは「取ってみたい資格や免許ができた」「幅広い教養が身に付くと思った」「学生生活

が充実すると思った」「学生生活を長く過ごしたいと思った」「就職が有利になると思った」「先生の勧めがあった」などである。

これに対して短大から専門学校への進路変更では、高校3年の12月以降になると「受験の結果が不合格であった」が理由の中心となるが、それ以前は「取ってみたい資格や免許ができた」「就職が有利になると思った」「仕事に役立つ知識や技術が身に付くと思った」といった項目が常に上位を占める(図表5-4)。専門学校への進路変更は、大学への進路変更より目的意識がはっきりしているように思われる。

専門学校から大学への進路変更

図表5-1 時期別 志望変更の理由 大学→短大 (全体/各複数回答)

調査数	新しい分野に興味を持った	取ってみたい資格や免許ができた	幅広い教養が身に付くと思った	校風・雰囲気があった	授業を受けてみたい先生がいた	施設・キャンパスが気に入った	学生生活が充実すると思った	学生生活を長く過ごしたいと思った	学生生活は短くていいと思った	住みたい地域があった	ひとり暮らしをしたかった	就職が有利になると思った	仕事に役立つ知識や技術が身に付くと思った	学歴を重視した	自分の学力に合わせた	先生の勧めがあった	家族の勧めがあった	友達に誘われた	経済的な事情があった	高校の推薦がもらえなかった	付属校で試験がないから	受験の結果が不合格であった	世間体	もう少し勉強したくなかった	受験勉強がいやだから	その他	無回答	
高校入学時から高1の夏休み後	47	8.5	⑤12.8	⑤12.8	10.6	—	8.5	4.3	—	①19.1	2.1	2.1	③14.9	③14.9	4.3	②17.0	4.3	10.6	—	—	—	—	—	2.1	6.4	4.3	6.4	
高1の夏休み後から高2の4月	60	④13.3	③15.0	8.3	10.0	—	11.7	11.7	—	①23.3	1.7	1.7	10.0	④13.3	3.3	②21.7	6.7	1.7	10.0	—	—	—	—	1.7	6.7	1.7	5.0	
高2の4月から夏休み後	60	13.3	④16.7	6.7	④16.7	6.7	10.0	11.7	—	④16.7	—	—	③18.3	—	1.7	—	6.7	13.3	—	④16.7	3.3	—	—	3.3	11.7	5.0	3.3	
高2の夏休み後から高3の4月	80	⑤18.8	②21.3	7.5	13.8	2.5	④20.0	10.0	1.3	②21.3	1.3	2.5	17.5	—	2.5	⑤18.8	3.8	15.0	1.3	13.8	8.8	1.3	—	1.3	—	2.5	5.0	2.5
高3の4月から夏休み後	130	14.6	17.7	10.8	①22.3	3.1	④19.2	12.3	0.8	14.6	3.1	1.5	13.1	17.7	2.3	—	15.4	14.6	0.8	⑤18.5	—	3.1	—	0.8	11.5	7.7	3.8	
高3の夏休み後から12月	49	6.1	4.1	2.0	10.2	2.0	8.2	14.3	—	12.2	—	—	10.2	③16.3	6.1	—	③16.3	10.2	2.0	③16.3	③16.3	2.0	—	—	12.2	16.3	2.0	
高3の12月から2月	42	4.8	7.1	2.4	2.4	—	4.8	4.8	—	④11.9	2.4	2.4	7.1	4.8	4.8	②16.7	4.8	③14.3	2.4	④11.9	—	—	4.8	2.4	9.5	4.8	—	
高3の2月から卒業まで	74	2.7	—	1.4	⑤4.1	1.4	—	2.7	—	2.7	—	—	2.7	2.7	—	③8.1	②10.8	③8.1	—	1.4	—	1.4	—	—	2.7	4.1	9.5	

図表5-2 時期別 志望変更の理由 大学→専門学校 (全体/各複数回答)

調査数	新しい分野に興味を持った	取ってみたい資格や免許ができた	幅広い教養が身に付くと思った	校風・雰囲気があった	授業を受けてみたい先生がいた	施設・キャンパスが気に入った	学生生活が充実すると思った	学生生活を長く過ごしたいと思った	学生生活は短くていいと思った	住みたい地域があった	ひとり暮らしをしたかった	就職が有利になると思った	仕事に役立つ知識や技術が身に付くと思った	学歴を重視した	自分の学力に合わせた	先生の勧めがあった	家族の勧めがあった	友達に誘われた	経済的な事情があった	高校の推薦がもらえなかった	付属校で試験がないから	受験の結果が不合格であった	世間体	もう少し勉強したくなかった	受験勉強がいやだから	その他	無回答	
高校入学時から高1の夏休み後	96	①43.8	③31.3	3.1	4.2	1.0	4.2	7.3	1.0	5.2	—	3.1	④12.5	②36.5	2.1	⑤10.4	—	6.3	—	1.0	—	—	—	—	1.0	7.3	2.1	1.0
高1の夏休み後から高2の4月	160	①38.8	③23.1	8.1	6.3	0.6	6.3	6.3	0.6	4.4	1.3	0.6	④18.1	②35.6	0.6	11.3	1.9	4.4	2.5	8.1	1.3	—	—	—	0.6	⑤11.9	7.5	5.0
高2の4月から夏休み後	156	①39.1	③29.5	6.4	6.4	1.3	10.3	7.7	—	2.6	1.3	—	④19.9	—	0.6	⑤13.5	5.1	4.5	—	6.4	—	—	0.6	—	12.8	7.7	2.6	
高2の夏休み後から高3の4月	183	②29.0	③27.3	1.6	10.9	3.8	10.9	10.4	1.6	3.8	—	0.5	④24.6	—	0.5	⑤14.8	1.6	4.9	0.5	10.9	1.1	0.5	—	1.1	0.5	10.4	6.0	4.9
高3の4月から夏休み後	215	④20.5	②23.7	8.8	⑤16.3	3.7	14.0	10.7	1.9	4.2	0.9	2.3	③21.4	—	1.4	15.3	5.1	12.6	1.9	11.2	9.8	—	2.3	0.9	0.5	7.4	8.8	7.9
高3の夏休み後から12月	72	9.7	④16.7	9.7	⑤15.3	2.8	5.6	12.5	—	4.2	—	—	⑤15.3	②25.0	2.8	12.5	5.6	9.7	1.4	11.1	6.9	—	—	1.4	—	③23.6	5.6	5.6
高3の12月から2月	49	6.1	④14.3	4.1	4.1	2.0	8.2	8.2	—	2.0	—	2.0	⑤12.2	②24.5	—	10.2	2.0	2.0	—	6.1	2.0	—	—	2.0	4.1	③16.3	10.2	6.1
高3の2月から卒業まで	58	3.4	5.2	3.4	3.4	—	1.7	1.7	1.7	—	—	1.7	③10.3	②17.2	1.7	④6.9	—	④6.9	—	5.2	—	—	—	5.2	3.4	3.4	6.9	8.6

特集 高校生の進路選択行動はどう変わったか

図表5-3 時期別 志望変更の理由 短大→大学 (全体/各複数回答)

※時期別にポイントが高い順にランク付け ※時期別に一番高い数値に網掛け (%)

調査数	新しい分野に興味を持った	取ってみたい資格や免許ができた	幅広い教養が身に付くと思った	校風・雰囲気があった	授業を受けてみたい先生がいた	施設・キャンパスが気に入った	学生生活が充実すると思った	過ごしたいと思った	学生生活は短くていいと思った	住みたい地域があった	ひとり暮らしをしたかった	就職が有利になると思った	仕事に役立つ知識や技術が身に付くと思った	学歴を重視した	自分の学力に合わせた	先生の勧めがあった	家族の勧めがあった	友達に誘われた	経済的な事情があった	高校の推薦がもらえなかった	付属校で試験がないから	受験の結果が不合格であった	世間体	もう少し勉強しなかった	受験勉強がいやだから	その他	無回答
高校入学時から高1の夏休み後	23	①26.1	13.0	①26.1	4.3	4.3	13.0	①26.1	①26.1	—	—	—	21.7	—	—	13.0	8.7	—	—	—	—	—	—	8.7	—	13.0	8.7
高1の夏休み後から高2の4月	43	③18.6	①20.9	①20.9	11.6	—	2.3	14.0	④16.3	—	—	11.6	14.0	2.3	2.3	④16.3	9.3	—	—	2.3	—	—	2.3	4.7	—	—	18.6
高2の4月から夏休み後	48	14.6	②22.9	①27.1	8.3	4.2	4.2	12.5	③20.8	—	—	③20.8	12.5	8.3	4.2	⑤16.7	6.3	4.2	—	—	—	—	4.2	8.3	2.1	4.2	8.3
高2の夏休み後から高3の4月	89	⑤20.2	②25.8	①31.5	15.7	5.6	12.4	⑤20.2	②25.8	—	—	④22.5	14.6	11.2	3.4	16.9	16.9	1.1	—	5.6	—	—	2.2	7.9	—	3.4	13.5
高3の4月から夏休み後	66	13.6	③24.2	19.7	13.6	4.5	16.7	④22.7	②25.8	—	—	④22.7	15.2	19.7	4.5	—	19.7	3.0	3.0	15.2	—	—	9.1	7.6	—	4.5	7.6
高3の夏休み後から12月	27	11.1	14.8	14.8	①22.2	—	①22.2	①22.2	14.8	—	—	⑤18.5	11.1	11.1	3.7	11.1	—	7.4	—	11.1	—	—	—	11.1	—	—	25.9
高3の12月から2月	5	②20.0	—	②20.0	—	—	—	②20.0	—	—	—	②20.0	—	—	—	②20.0	②20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0	40.0
高3の2月から卒業まで	9	—	③11.1	③11.1	—	—	—	③11.1	①33.3	—	—	—	③11.1	③11.1	—	③11.1	③11.1	③11.1	—	—	—	②22.2	—	—	—	—	11.1

図表5-4 時期別 志望変更の理由 短大→専門学校 (全体/各複数回答)

※時期別にポイントが高い順にランク付け ※時期別に一番高い数値に網掛け (%)

高校入学時から高1の夏休み後	13	①61.5	③23.1	⑤7.7	⑤7.7	—	④15.4	—	—	—	⑤7.7	⑤7.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.7	15.4	
高1の夏休み後から高2の4月	26	③19.2	②23.1	3.8	—	—	7.7	3.8	—	7.7	—	—	⑤11.5	①46.2	—	—	3.8	④15.4	—	3.8	—	—	—	3.8	—	3.8	11.5	
高2の4月から夏休み後	35	②22.9	②22.9	5.7	5.7	2.9	⑤17.1	2.9	—	—	—	②22.9	①37.1	—	8.6	2.9	14.3	—	8.6	—	—	—	—	—	5.7	8.6	11.4	
高2の夏休み後から高3の4月	41	①34.1	③24.4	12.2	17.1	2.4	④22.0	14.6	—	2.4	—	—	④22.0	②31.7	—	9.8	7.3	7.3	2.4	7.3	4.9	—	—	—	—	12.2	7.3	2.4
高3の4月から夏休み後	51	13.7	③19.6	9.8	⑤17.6	3.9	②21.6	7.8	—	3.9	—	2.0	③19.6	①33.3	—	⑤17.6	7.8	11.8	2.0	13.7	13.7	—	3.9	—	3.9	5.9	7.8	7.8
高3の夏休み後から12月	21	⑤19.0	①28.6	③23.8	14.3	4.8	14.3	9.5	4.8	—	4.8	—	⑤19.0	①28.6	—	4.8	③23.8	14.3	—	4.8	14.3	—	4.8	—	—	9.5	4.8	
高3の12月から2月	10	—	④10.0	②20.0	②20.0	—	④10.0	④10.0	—	—	—	—	④10.0	④10.0	—	④10.0	④10.0	—	④10.0	—	—	—	①60.0	—	—	—	10.0	
高3の2月から卒業まで	10	—	10.0	10.0	②20.0	—	10.0	10.0	—	10.0	—	—	②20.0	②20.0	—	10.0	10.0	10.0	10.0	—	②20.0	—	①50.0	—	—	②20.0	10.0	—

図表5-5 時期別 志望変更の理由 専門学校→大学 (全体/各複数回答)

※時期別にポイントが高い順にランク付け ※時期別に一番高い数値に網掛け (%)

高校入学時から高1の夏休み後	50	12.0	10.0	①26.0	6.0	4.0	10.0	10.0	8.0	—	—	—	①26.0	⑤18.0	16.0	4.0	①26.0	④20.0	8.0	2.0	2.0	2.0	—	8.0	6.0	—	2.0	2.0
高1の夏休み後から高2の4月	118	⑤19.5	13.6	①23.7	5.9	1.7	5.9	13.6	9.3	—	1.7	1.7	⑤19.5	11.9	①23.7	1.7	④21.2	③22.0	—	3.4	0.8	—	—	4.2	4.2	—	2.5	11.0
高2の4月から夏休み後	109	⑤19.3	15.6	①21.1	9.2	0.9	7.3	12.8	14.7	0.9	0.9	0.9	17.4	11.0	①21.1	10.1	③20.2	③20.2	—	5.5	2.8	—	—	9.2	9.2	—	4.6	10.1
高2の夏休み後から高3の4月	219	16.9	11.9	②21.5	9.1	1.4	9.1	④20.1	⑤19.2	0.5	0.5	1.4	17.4	16.0	③20.5	4.6	16.9	①22.8	1.4	2.3	3.7	1.4	0.5	8.2	5.9	0.9	4.1	14.2
高3の4月から夏休み後	201	④17.9	11.9	②22.4	11.9	3.0	11.9	13.4	13.9	—	0.5	1.0	12.4	13.9	⑤16.4	5.0	③20.4	①23.9	1.5	4.5	11.4	0.5	—	6.0	9.0	1.0	4.5	13.4
高3の夏休み後から12月	74	4.1	5.4	④14.9	6.8	4.1	5.4	2.7	③17.6	—	—	—	12.2	8.1	①21.6	4.1	9.5	②18.9	4.1	1.4	—	—	1.4	8.1	⑤13.5	—	1.4	23.0
高3の12月から2月	20	5.0	10.0	—	10.0	—	10.0	5.0	10.0	—	—	—	④15.0	5.0	②20.0	5.0	②20.0	①30.0	5.0	5.0	5.0	—	—	④15.0	10.0	—	—	25.0
高3の2月から卒業まで	13	①23.1	—	①23.1	7.7	—	7.7	15.4	15.4	—	—	—	①23.1	①23.1	7.7	7.7	15.4	①23.1	7.7	15.4	7.7	—	7.7	7.7	—	—	23.1	

図表5-6 時期別 志望変更の理由 専門学校→短大 (全体/各複数回答)

※時期別にポイントが高い順にランク付け ※時期別に一番高い数値に網掛け (%)

高校入学時から高1の夏休み後	14	②21.4	14.3	7.1	②21.4	—	14.3	14.3	—	7.1	—	—	7.1	②21.4	—	①28.6	②21.4	7.1	—	7.1	—	—	—	—	—	—	—	—
高1の夏休み後から高2の4月	28	③28.6	17.9	①46.4	④21.4	3.6	17.9	17.9	3.6	—	—	—	④21.4	②32.1	14.3	3.6	17.9	④21.4	—	7.1	—	—	—	7.1	—	—	3.6	3.6
高2の4月から夏休み後	39	10.3	①28.2	④17.9	④17.9	—	④17.9	10.3	2.6	5.1	—	2.6	④17.9	③20.5	7.7	7.7	12.8	②23.1	—	5.1	5.1	—	—	—	10.3	—	5.1	—
高2の夏休み後から高3の4月	51	④11.8	9.8	③13.7	9.8	2.0	3.9	7.8	—	9.8	—	5.9	④11.8	④11.8	7.8	7.8	①19.6	②17.6	—	9.8	5.9	—	—	5.9	7.8	2.0	3.9	9.8
高3の4月から夏休み後	61	①19.7	9.8	④18.0	14.8	3.3	①19.7	13.1	4.9	4.9	1.6	—	14.8	④18.0	8.2	8.2	①19.7	④18.0	—	6.6	16.4	1.6	—	1.6	4.9	3.3	3.3	13.1
高3の夏休み後から12月	11	9.1	—	—	①27.3	—	①27.3	④18.2	9.1	9.1	—	—	④18.2	④18.2	—	9.1	9.1	①27.3	9.1	④18.2	④18.2	—	—	—	—	④18.2	18.2	9.1
高3の12月から2月	5	—	①20.0	①20.0	①20.0	—	—	①20.0	—	—	—	—	—	—	—	①20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.0	—	
高3の2月から卒業まで	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

も、図表5-5のとおり、時期による違いはあまり見られない。ほとんどの時期で共通して多いのは「幅広い教養が身に付くと思った」「学歴を重視した」「家族の勧めがあった」の3つ。中身よりも学歴が重視され、また、

外(家族)からの働きかけによって進路希望が変わることは専門学校関係者にとっては気になるところであろう。「先生の勧めがあった」もこれほどではないが、多い時期には2割以上が挙げている。同様に、専門学校

から短大への進路変更においても、これといった理由はないが、やはり「家族の勧めがあった」が多くの時期で上位に入っている(図表5-6)。

いるわけである。

その一方で、大学への出願は2.15校から2.32校へ、専門学校への出願は1.56校から1.58校へと、いずれもわずかながら増えた。全入化のなか、短大の魅力が薄れているということだろうか。



わかる。つまり、出願数が「1校」というケースが33.3%から38.2%へと4.9ポイント増加している一方、「5校以上」というケースも20.9%から22.3%へと1.4ポイント増えている。「1校」の増加は一般化してきたAO入試や自己推薦入試によって大学に進学する生徒が増えている結果だろう。実際、図表6-3のとおり、合格した大学の入試方法別に見ると、AO入試で大学に進学した生徒のうち1校しか出願しなかった者は72.9%を占めている。また、自己推薦入試での進学者のうち56.8%が出願1校の生徒

である。平均出願数はAO入試利用者が1.51校、自己推薦入試利用者が1.65校となっている。これに対して「5校以上」の増加は、全入化が進むなかにあっても、難関の大学はこれまで同様に激戦である一方で、私立大学の多くがセンター入試に参加するようになり、受験生にとっては少ない負担で併願しやすくなったことが理由として考えられる。実際、センター入試を利用して大学に進学した生徒のうち44.4%が「5校以上」出願しており、平均数は4.62校となっている。

4

興味を持った学校や出願した学校の数の変化

- ・減少傾向にある短大、専門学校への出願数
- ・出願数横ばいの大学だが、二極分化の様相が

次に、一人ひとりの受験生が、どのくらいの数の学校に興味・関心を持ち、何校くらいに資料請求を行い、最終的に何校に出願したのかを、大学進学者、短大進学者、専門学校進学者それぞれについて、99年と07年とを比較しながら見てみる。

・大学進学者の出願状況

まず大学進学者の出願状況(興味・関心、資料請求、出願数)について見てみよう。図表6-1によると、大学に対しては、興味・関心を持った学校が6.05校。これは99年の6.31校より少ない。しかし、資料を請求した学校は5.73校から5.87校へとわずかに増えた。そして、最終的に出願したのは2.99校。これは99年とまったく同じである。

一方、最終的に大学に進学した生徒の、短大や専門学校への関心は薄れているようだ。短大、専門学校ともに興味・関心を持った学校の数、資料請求した学校の数、出願した学校の数いずれも減っている。特に専門学校については、興味・関心を持った学校が4.08校から2.87校へ、資料請求した学校数が4.04校から2.86

校へと1校以上少なくなった。その結果、出願数も1.70校から1.40校へと0.3校減っている。

・短大進学者の出願状況

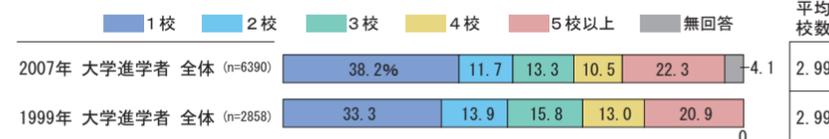
短大進学者については、短大そのものへの出願数が減っているのが目につく。興味・関心は4.05校から2.73校へ、資料請求は3.87校から2.76校へ、出願は1.41校から1.21校へ、といった具合である。興味・関心、資料請求については1校以上減って

図表6-1 出願状況(興味・関心、資料請求、出願数)の変化

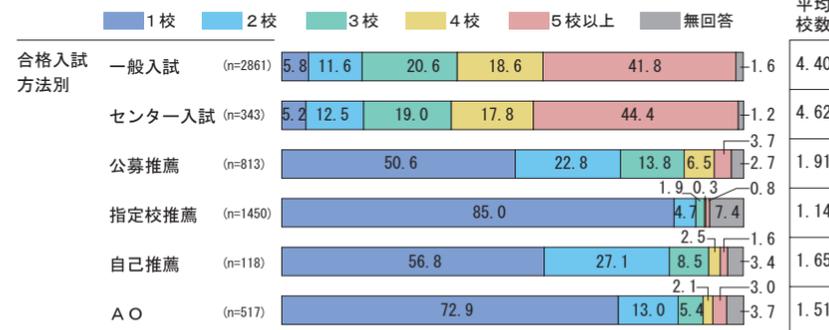
	調査年	調査数	大学へ			短大へ			専門学校へ		
			興味関心(校)	資料請求(校)	出願(校)	興味関心(校)	資料請求(校)	出願(校)	興味関心(校)	資料請求(校)	出願(校)
大学進学者	2007年	6390	6.05	5.87	2.99	2.07	2.01	1.20	2.87	2.86	1.40
	1999年	2858	6.31	5.73	2.99	2.90	2.70	1.55	4.08	4.04	1.70
短大進学者	2007年	685	4.65	4.65	2.32	2.73	2.76	1.21	3.32	3.39	1.58
	1999年	1130	4.68	4.57	2.15	4.05	3.87	1.41	3.87	3.80	1.56
専門学校進学者	2007年	1307	4.01	3.80	2.30	2.21	2.16	1.06	3.96	3.90	1.18
	1999年	1384	3.96	3.80	2.11	2.81	2.67	1.31	4.69	4.31	1.29

※1校以上回答した人の平均

図表6-2 出願校数分布<大学>時系列



図表6-3 出願校数分布<大学>時系列



5

情報の入手経路

- ・短大・専門学校進学者に評価の高い学校見学会
- ・専門学校進学者は高校に頼らず自分で情報収集

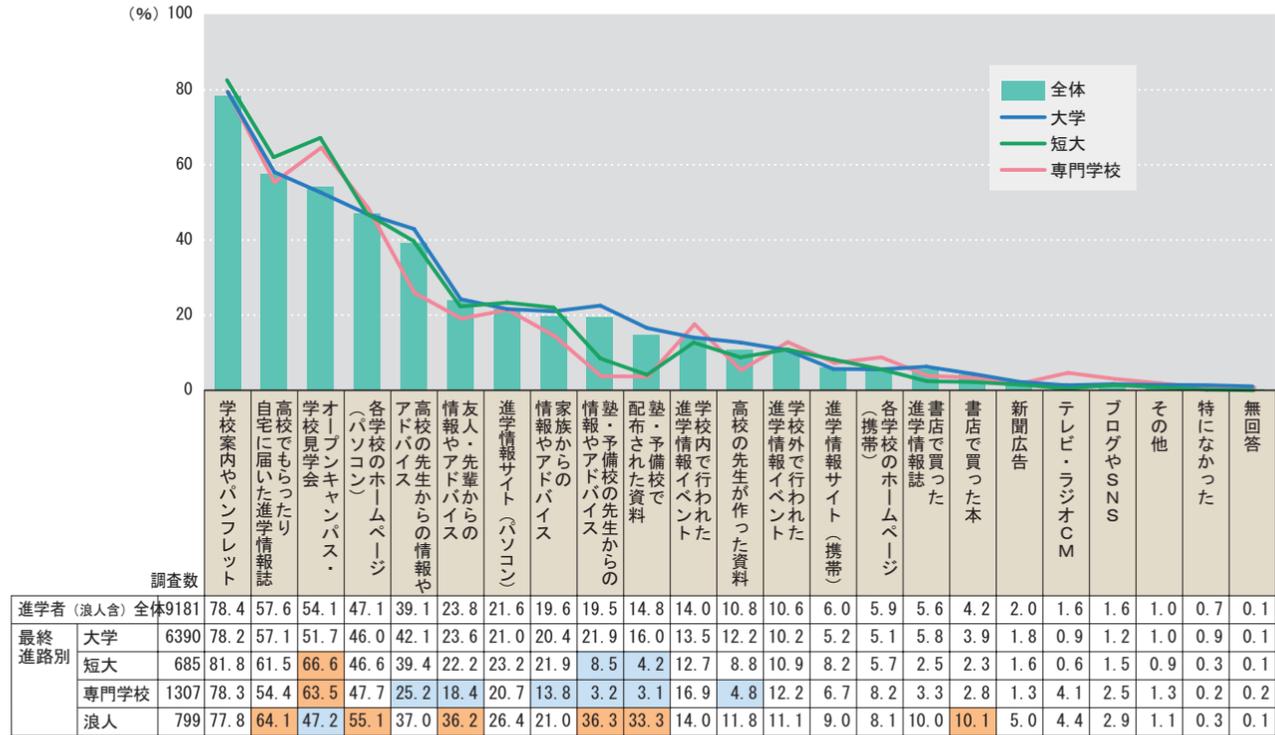
次に、進学者が個別の学校の情報を入手するために、どのようなメディアや方法を利用し、あるいは頼りにしているのかを見てみよう。

・複数回答の結果より

図表7-1によると、進学者全体で

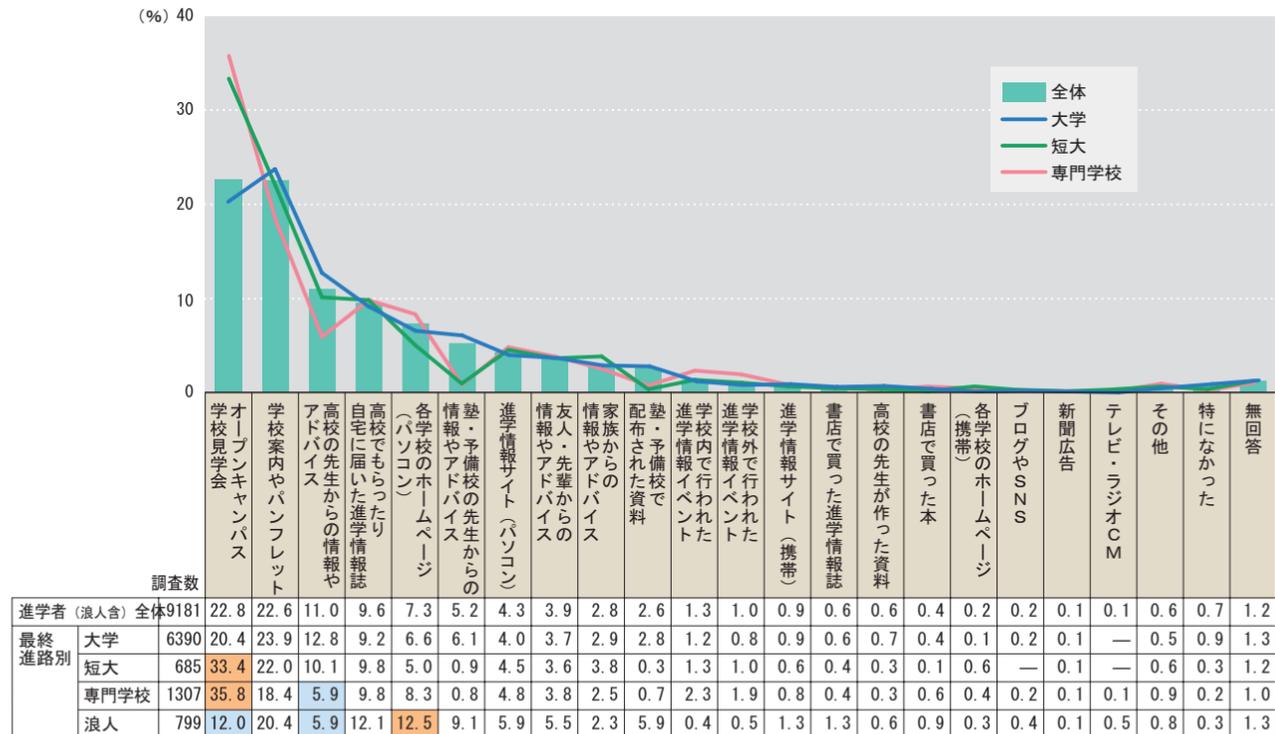
最も多く挙げたのは「学校案内やパンフレット」の78.4%。以下、「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」(57.6%)、「オープンキャンパス・学校見学会」(54.1%)、「各学校のホームページ(パソコン)」(47.1%)と続く。この4つの順位は大学進

図表7-1 進学関連情報の入手経路（進学者（浪人含）／複数回答）



「進学者(浪人含)全体」より5ポイント以上高 「進学者(浪人含)全体」より5ポイント以上低い ※「進学者(浪人含)全体」の降順ソート

図表7-2 最も役に立った進学関連情報源（進学者（浪人含）／単一回答）



「進学者(浪人含)全体」より5ポイント以上高 「進学者(浪人含)全体」より5ポイント以上低い ※「進学者(浪人含)全体」の降順ソート

学者も同じだが、短大進学者と専門学校進学者は違っており、「高校でもらったり自宅に届いた進学情報誌」より「オープンキャンパス・学校見学会」のほうが上位に来ている。このうち「オープンキャンパス・学校見学会」は短大進学者(66.6%)、専門学校進学者(63.5%)ともに3人に2人までが情報源として利用しているのに対して、大学進学者の場合は51.7%と2人に1人にとどまっている。

一方、5位以下を見ても、情報源によって頼りにしている度合いが三者で異なるケースがいくつかあることがわかる。まず、「高校の先生からの情報やアドバイス」(大学42.1%、短大39.4%、専門学校25.2%)については、大学進学者や短大進学者の4割前後が頼りにしているが、専門学校進学者の場合は20%台である。また、「家族からの情報やアドバイス」(同20.4%、21.9%、13.8%)、それほど目立たないが、「高校の先生が作った資料」(同12.2%、8.8%、4.8%)についても、専門学校進学者は大学・短大進学者ほどには情報源としていない。

このほか、「塾・予備校の先生からの情報やアドバイス」(同21.9%、8.5%、3.2%)と「塾・予備校で配布された資料」(同16.0%、4.2%、3.1%)の2つについては、短大進学者と専門学校進学者は情報源としてほとんど挙げていない。

こうして見ると、とくに専門学校進学者は塾・予備校はもちろんだが、高校や家族からの情報やアドバイスも利用していない、というよりも、

これらから十分な情報提供がなされていないことがわかる。専門学校進学者が利用しているのは「学校案内やパンフレット」「オープンキャンパス・学校見学会」「高校でもらったり、自宅に届いた進学情報誌」「各学校のホームページ(パソコン)」など、多くは自分のほうから情報提供を働きかけたり、アクセスしたりするものである。



・単一回答より

最も役に立ったものとして、利用した情報源の一つだけ挙げてもらったところ、図表7-2のとおり、多くの進学者が「オープンキャンパス・学校見学会」、もしくは「学校案内やパンフレット」を挙げた。全体ではそれぞれ22.8%、22.6%。この2つのいずれかを挙げた者は2人に1人(合計45.4%)に達する。もっとも、複数回答の結果がそうであったように、単一回答の結果を見ても、短大進学者や専門学校進学者に比べると、情報源としての「オープンキャンパス・学校見学会」の評価は大学進学者においてそれほど高くない。短大進学者の33.4%、専門学校進学者の35.8%が「最も役に立った」と回答しているが、その割合は大学進学者では20.4%にとどまっている。むしろ「学校案内やパンフレット」(23.9%)を評価している者のほうが多い。

3位以下を進学先別に見ても、複数回答の結果を裏付ける結果が出

ている。3位の「高校の先生からの情報やアドバイス」(大学12.8%、短大10.1%、専門学校5.9%)については、大学・短大進学者に比べて専門学校進学者の評価が低く、6位の「塾・予備校の先生からの情報やアドバイス」(同6.1%、0.9%、0.8%)については大学進学者に比べて短大・専門学校進学者の評価が低い。

このほか、「各学校のホームページ(パソコン)」や「進学情報サイト(パソコン)」については、先の複数回答では全体値でそれぞれ47.1%、21.6%、単一回答でもそれぞれ7.3%、4.3%が評価しており、いずれもある程度の評価を得ているが、同じ情報サイトでも携帯電話となると、「進学情報サイト(携帯)」(複数回答6.0%、単一回答0.9%)や「各学校のホームページ(携帯)」(同5.9%、0.2%)はあまり利用されていない。携帯電話が情報入手に積極的に活用されるのはこれからのように見える。

6

地元志向

- ・半数以上が「地元に残りたい」と考えている
- ・地元志向が比較的弱いのは愛知県

最後に、進学者は志望校を検討する際に、地元に残る意向をどの程度持っているのかを見てみよう。

図表8によると、「ぜひ地元に残りたいと思っていた」と言う者は全体の37.0%。「できれば」(16.1%)を合わせると、過半数(53.1%)に達する。残りの多くも、「どちらでも良かった」(29.3%)で、地元を出たいと思っていたという者は、「ぜひ」(4.3%)と「できれば」(8.2%)を合わせても12.5%しかない。

男女別に見ると、地元に残りたいと言う者は女子に多い。女子の場合は「ぜひ」だけで41.9%。「できれば」を合わせると、地元志向は6割近く(57.3%)に達する。一方の男子は

「ぜひ」(30.3%)と「できれば」(16.9%)を合わせて地元志向は5割強47.2%、3人に1人(33.5%)は「どちらでも良かった」と回答している。

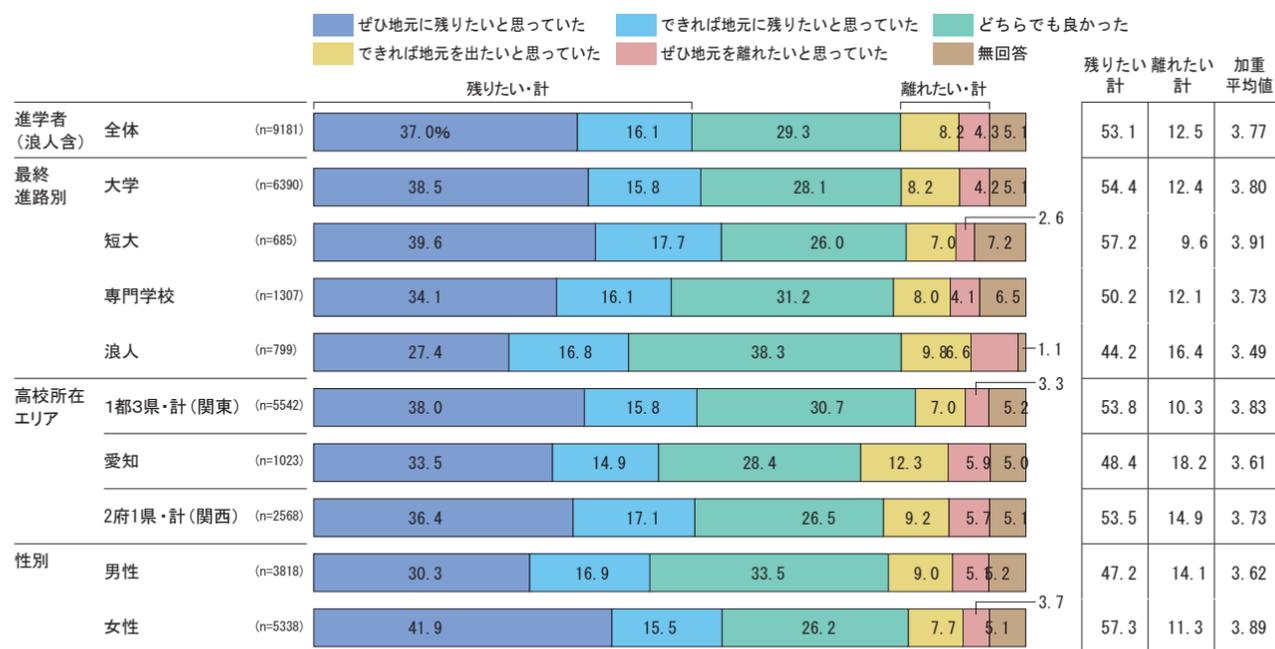
最終進路別に見ると、特に地元志向が強いのは、女子が大半を占める短大進学者である。「ぜひ地元に残りたいと思っていた」という者がほぼ4割(39.6%)。「できれば」(17.7%)を加えると57.2%に達する。地元を離れたかったと言う者は、「ぜひ」(2.6%)と「できれば」(7.0%)を合わせても9.6%と1割にも満たない。逆に、地元志向がそれほど強くないのは専門学校進学者。「ぜひ」(34.1%)と「できれば」(16.1%)の合計値は50.2%で5割を超えるが、大学進学者(54.4

%)と比較しても4.2ポイント少ない。

高校の所在地別に見ると、関東(1都3県)と関西(2府1県)の違いは、地元を離れたいと言う者の割合が関西のほうがやや多めであること。地元志向は関東が合計53.8%、関西が53.5%とほとんど差がないが、離れたい者の割合は関東の10.3%に対して関西は14.9%となっている。

一方、その関西と比較しても、地元志向が弱いのは愛知県。「ぜひ地元に残りたいと思っていた」と言う者は3人に1人(33.5%)。「できれば」(14.9%)を合わせても48.4%にとどまっている。地元を離れたいと思っていたと言う者も、「ぜひ」(5.9%)と「できれば」(12.3%)とを合わせると2割近く(18.2%)いる。関東や関西と比較して、通学圏内の選択肢が少ないということだろうか。

図表8 志望校検討時の地元選択志向(進学者(浪人含)/単一回答)



学校主催イベントの参加状況と評価

1

学校主催のイベントへの参加状況

- ・参加率は8割。平均3.77回参加。99年より大幅増
- ・女子の約半数が親同伴で参加

ここでは、大学や短大、専門学校がそれぞれに主催するオープンキャンパスや学校見学会、体験入学などのイベントへの参加の状況や目的などについて聞いた。

・参加率

まず、学校主催のイベントに「参加したことがあるか」という質問に対しては、全体の8割(80.6%)が「参加した」と回答(図表9-1)。図表9-2に示した99年の調査(61.8%)と比較すると20ポイント近くも増えている。何らかのイベントに参加することは当たり前になったといえそう。最終進路別に見ると、参加率が高いのは短大進学者(92.3%)と専門学校進学者(91.3%)。いずれも9割を超える。大学進学者の参加率は82.4%で、両者より10ポイントほど低い。男女別にみると、男性(72.8%)を女性(86.3%)が大きく上回っている。

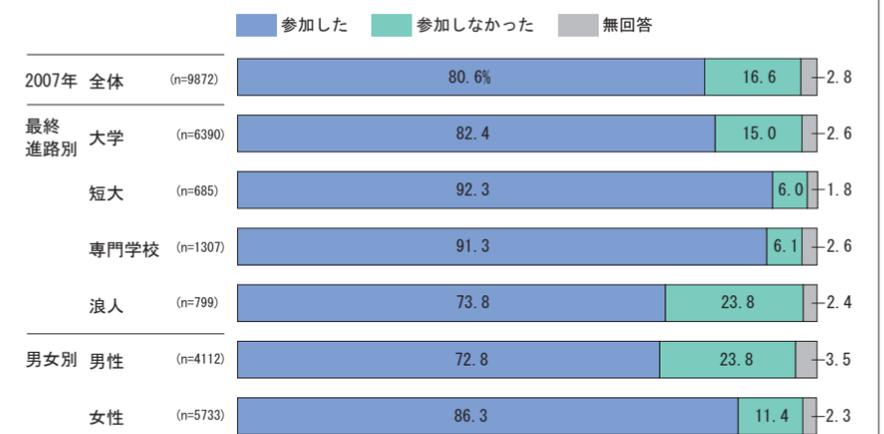
では、実際に進学した学校の主催イベントへの参加率はどのくらいなのか。それを見たのが図表9-3である。これによると、専門学校進学者の場合は91.5%。大半が少なくと

83.7%、大学進学者は71.2%となっている。

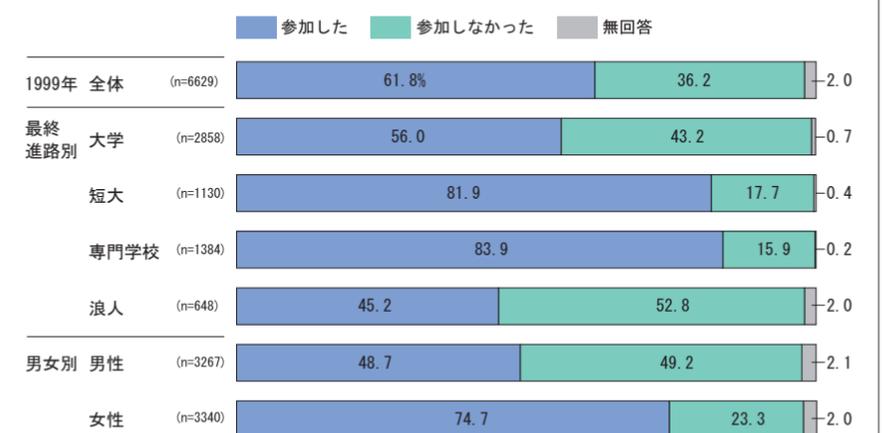
・不参加理由

学校主催のイベントに参加しなかったと回答した者に、その理由を聞いたところ、最も多かったのは、

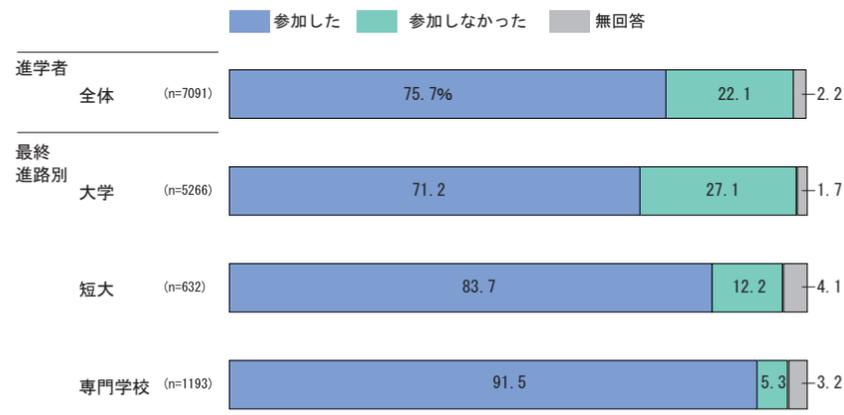
図表9-1 2007年 学校主催イベント参加経験(全体/単一回答)



図表9-2 1999年 学校主催イベント参加経験(全体/単一回答)



図表9-3 進学先校 主催イベント参加経験 (進学者のうちイベント参加者/単一回答)

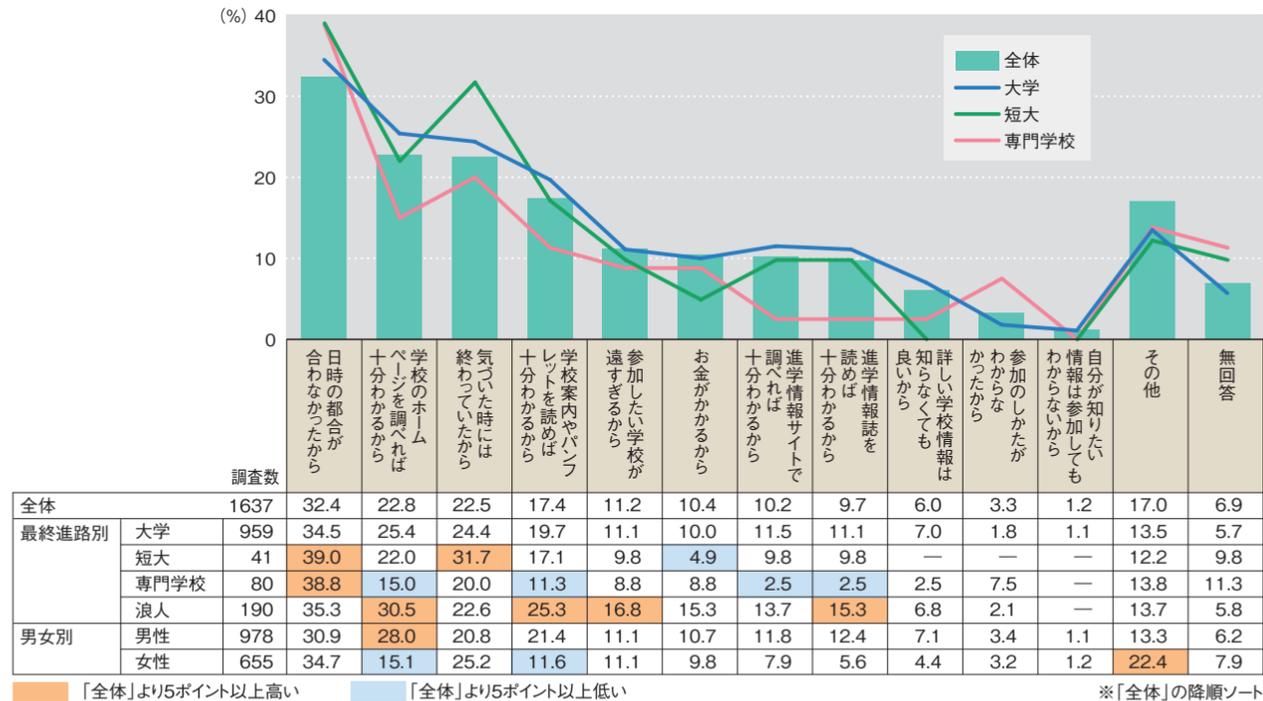


図表10のとおり、「日時の都合が合わなかったから」を3人に1人(32.4%)が挙げている。以下、10ポイントほど離れて「学校のホームページを調べれば十分わかるから」(22.8%)、「気づいた時には終わっていたから」(22.5%)、「学校案内やパンフレットを読めば十分わかるから」(17.4%)などが続く。

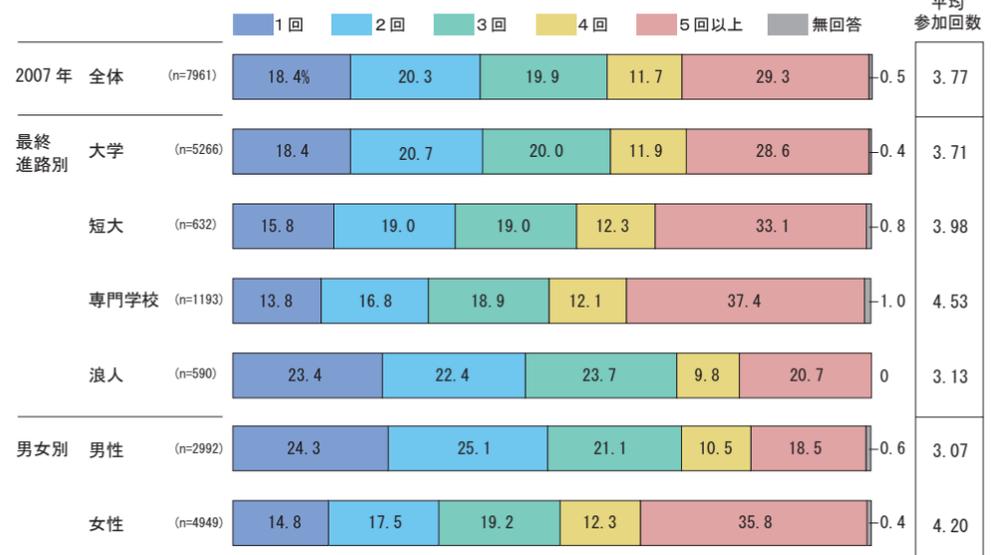
下位の項目も含め、進学先による違いのあるもの、ないものがいくつかある。最上位の「日時の都合が合わなかったから」と、それぞれ10%前後が挙げた「参加したい学校が遠すぎるから」の2つについては、進学先による違いはほとんどない。一方、

この2つ以外の項目の多くは、専門学校進学者に比べて大学、短大への進学者が多く挙げているたとえば、「気づいた時には終わっていたから」は専門学校進学者では20.0%だが、大学進学者の24.4%、短大進学者に至っては31.7%が挙げている。専門学校のなかには、1年間を通じて、毎週末何らかのイベントを行う学校もある。それに対して大学や短大のなかには夏休みにほんの数回、ということもある。この差が出ているものと思われる。また、年に数回の開催であっても、受験生が「そろそろ行こうか」という時期に用意され、その告知がきちんとなされていけば、「気づいた時には終わっていた」ということはあまりないものと思われる。見方を変えれば、開催日や開催時期を工夫することにより、大学や短大のイベントはさらなる

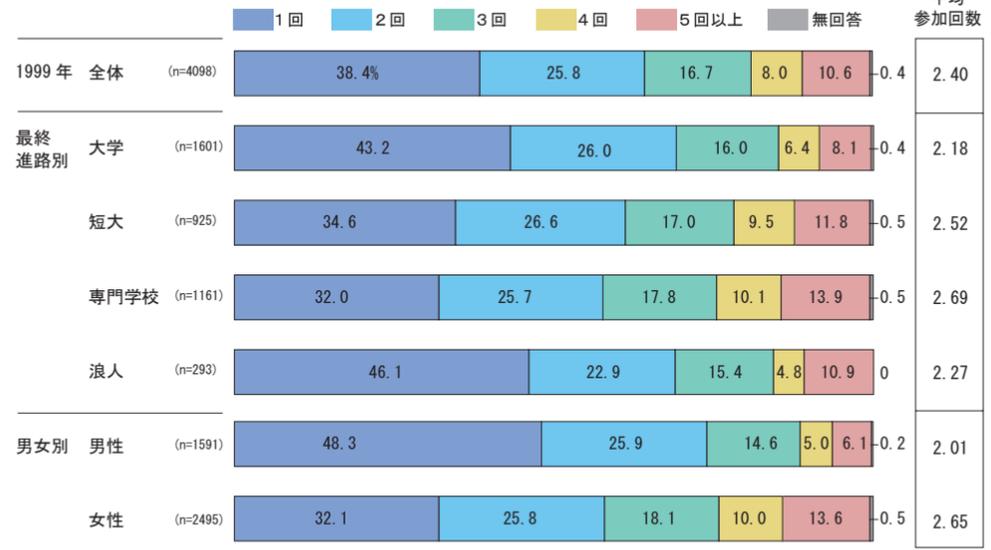
図表10 学校主催イベントへの不参加理由(イベント不参加者/複数回答)



図表11-1 2007年 学校主催イベント参加回数(イベント参加者/単一回答)



図表11-2 1999年 学校主催イベント参加回数(イベント参加者/単一回答)



図表11-3 進学先校 主催イベント参加回数(進学者のうち進学先イベント参加者/単一回答)



る利用拡大が見込まれるとも考えられる。

このほか「学校のホームページを調べれば十分にわかるから」「学校案内やパンフレットを読めば十分わかるから」「進学情報サイトで調べれば十分わかるから」「進学情報誌を読めば十分わかるから」などはいずれも大学、短大への進学者が専門学校進学者よりも多く挙げている。大学や短大のキャンパスや授業を含めたキャンパスライフについては、そこに行かなくともある程度の想像ができるということだろうか。専門学校についてはそれが難しく、「媒体だけでは不十分」と考える傾向が比較的強いようだ。

・参加回数

8割が参加している学校主催イベントだが、実際に参加した者にその回数を尋ねると、「5回以上」が最も多く、ほぼ3割(29.3%)に達している(図表11-1)。この割合は図表11-2に示した99年10.6%)と比較すると18.7

べると、大学進学者(54.7%)はそれほど挙げていない。逆に、大学進学者に比較的多いのは「友達に誘われて行った」。3人に1人(32.6%)が挙げており、専門学校進学者(23.6%)より10ポイント程度高い。

・イベントの認知経路

イベントが行われること、その日時や内容などについては、「学校案内やパンフレット」で知ったという者が非常に多く、71.4%を占めている(図表15)。離れて「各学校のホームページ(パソコン)」(46.5%)と「高校でもらったり、自宅に届いた進学情報誌」(43.7%)、さらに離れて「高校の先生からの情報やアドバイス」(18.9%)などが続く。

進学先による違いが見られるのは「高校の先生からの情報やアドバイス」(大学進学者20.0%、短大進学者21.2%、専門学校進学者13.9%)。

大学進学者や短大進学者と比較すると、専門学校進学者の数値は6~8ポイント低い。

このほか、携帯電話を利用しての情報の入手については、「各学校のホームページ(携帯)」が4.2%、「進

学情報サイト(携帯)」が3.5%となっており、学校情報の入手と同様に、まだ利用者は少ない。

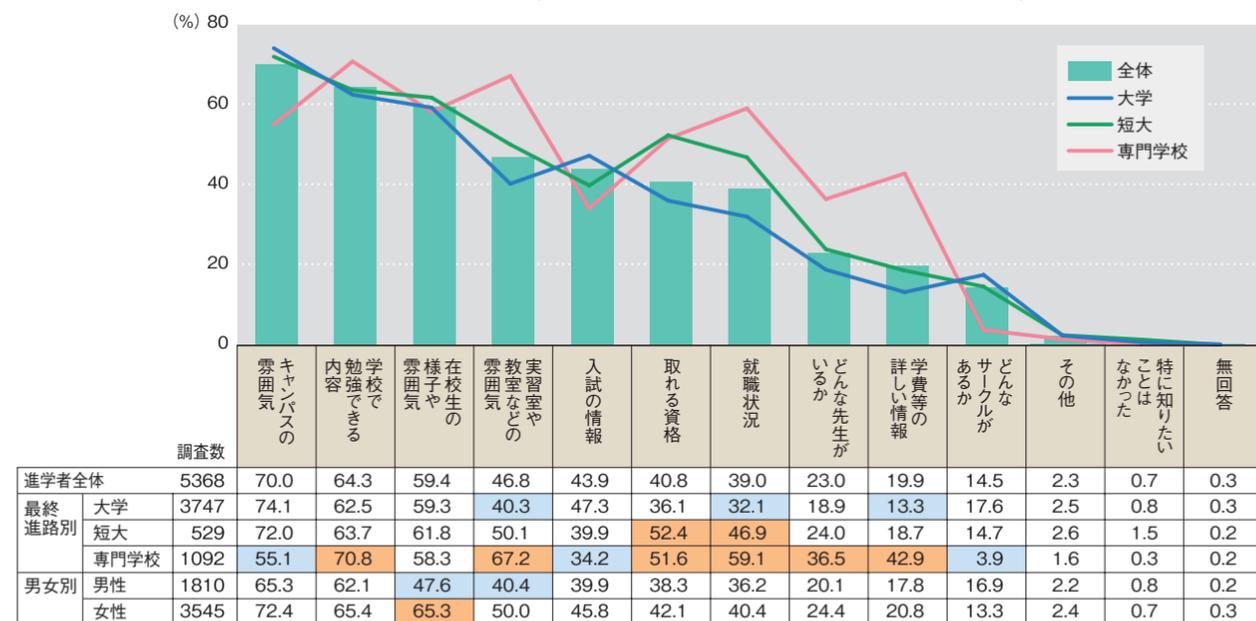
2 イベントへの評価
 ・「雰囲気」ではなく「内容」を求める専門学校進学者
 ・評価は専門学校>短大>大学進学者、女子>男子の順

・イベントで知りたかったこと

受験生は、さまざまなイベントでどのようなことを知りたいと思っているのか。実際に進学した学校主催のイベントに参加した者に、イベントで知りたかったことを聞いたところ、図表16のとおり、最も多く挙げたのは「キャンパスの雰囲気」の70.0%。以下、「学校で勉強できる内容」(64.3%)、「在校生の様子や雰囲気」(59.4%)、「実習室や教室などの雰囲気」(46.8%)、「就職状況」(39.0%)、「入試の情報」(43.9%)、「取得できる資格」(40.8%)、「学費等の詳しい情報」(19.9%)、「どんな先生がいるか」(23.0%)、「サークルがあるか」(14.5%)、「その他」(2.3%)、「特に関心があること」(0.7%)、「無回答」(0.3%)。

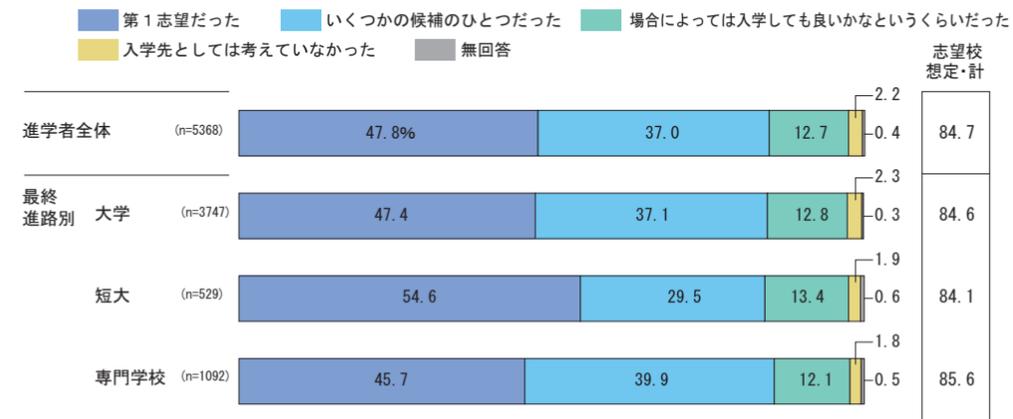
(46.8%)などが続く。ただし、進学先による違いがかなりある。大学進学者や短大進学者の場合は「キャンパスの雰囲気」「学校で勉強できる内容」「在校生の様子や雰囲気」の順で多く、それぞれ60~70%以上が挙げているが、専門学校進学者の場合は「学校で勉強できる内容」「実習室や教室などの雰囲気」「就職状況」の順で挙げている。大学進学者と短大進学者では最上

図表16 進学先校 主催イベントで知りたかったこと(進学者のうち進学先イベント参加者/複数回答)



「進学者全体」より5ポイント以上高い 「進学者全体」より5ポイント以上低い ※「進学者全体」の降順ソート

図表17 進学先校 主催イベント参加時の志望度合い(進学者のうち進学先イベント参加者/単一回答)



位の「キャンパスの雰囲気」については55.1%で、5番目。「在校生の様子や雰囲気」よりも下位にある。また、「取れる資格」「どんな先生がいるか」「学費等の詳しい情報」などについても、大学進学者と比べると、関心が高い。

一方、大学進学者と短大進学者との間にも若干の違いがある。短大進学者の場合、「入試の情報」については大学進学者ほど関心はないが、「実習室や教室などの雰囲気」「就職状況」については大学進学者以上に関心がある。この結果を見るかぎり、大学進学者よりも短大進学者が、さらに専門学校進学者のほうが、雰囲気ではなく、より具体的で、詳細な情報をイベントに求めていると言えそうだ。

・イベント参加校への志望度合い

イベントでは、参加者に対してとても熱心にアプローチしている学校と、比較的淡泊に接している学校があるように思われる。では、イベントに訪れる受験生のほうは、どの程度

の意気込み(志望度合い)で学校にやって来ているのか。実際に入学した学校が主催するイベントに参加した者に、参加した時点での入学意向を聞いた(図表17)。

これによると、「入学先としては考えていなかった」という者はわずか2.2%。半数近く(47.8%)が「第1志望だった」と回答しており、「いくつかの候補のひとつだった」(37.0%)と合わせると、84.7%にも達する。

進学先別に見ると、「第1志望だった」の割合は特に短大進学者に多い(54.6%)が、大学進学者(47.4%)、専門学校進学者(45.7%)においても5割近くいる。イベントに参加するきっかけは、「学校の先生から行くように言われた」「友達に誘われて行った」であっても、平均3.77回参加するイベントのなかには、かなり真剣な気持ちで参加しているものもあるわけである。

・イベントへの評価

こうして参加したイベントだが、参加者の評価はどうだろう。実際に進学した学校主催のイベントについて感想を聞いたところ、61.5%が「非常に役に立った」と回答(図表18-1)。「どちらかといえば役に立った」(32.7%)と合わせると、94.2%にも達する。評価が特に高いのは専門学校進学者である。4人に3人(75.2%)が「非常に役に立った」と答えている。大学進学者の場合、この割合は56.7%。専門学校進学者の評価より20ポイント程度、短大進学者の評価(67.1%)より10ポイント程度低い。先に見たとおり、イベントへの参加率や参加回数も、大学進学者は専門学校進学者や短大進学者より少なかったが、この評価の差と関係があるのかもしれない。

に進学した学校主催のイベントについて感想を聞いたところ、61.5%が「非常に役に立った」と回答(図表18-1)。「どちらかといえば役に立った」(32.7%)と合わせると、94.2%にも達する。評価が特に高いのは専門学校進学者である。4人に3人(75.2%)が「非常に役に立った」と答えている。大学進学者の場合、この割合は56.7%。専門学校進学者の評価より20ポイント程度、短大進学者の評価(67.1%)より10ポイント程度低い。先に見たとおり、イベントへの参加率や参加回数も、大学進学者は専門学校進学者や短大進学者より少なかったが、この評価の差と関係があるのかもしれない。

さて、大学進学者と専門学校進学者の評価の差はどこに由来するのか。そのヒントとなりそうなのが図表18-2である。これは、参加者にイベントの良かったところを尋ねたもの。これによると、大学進学者と、特に専門学校進学者とでは大きな違いがあることがわかる。まず、「良かったところ」として大学進学者が最も多く挙げているのは「校舎やキャンパスの中を自由に見学できた」こと。7割以上(71.1%)が挙げている。しかし、専門学校進学者でこれを挙げているのは、大学進学者の半分程度の35.8%。むしろ「施設・設備のことがわかった」(72.9%)ことや、「体験授業・実習に参加できた」(69.9%)

特集 高校生の進路選択行動はどう変わったか

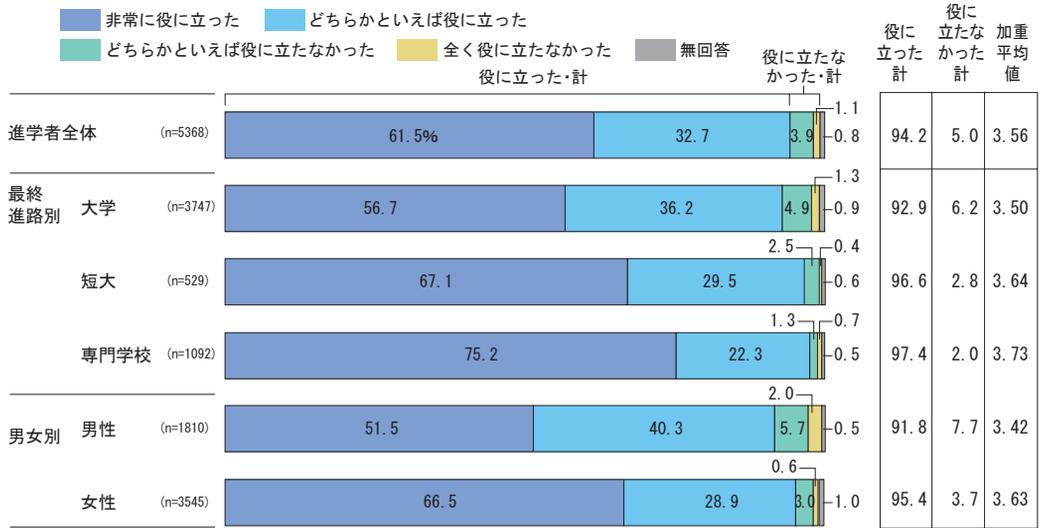
ことを「良かった」と言う者のほうが多い。

一方、これらと比べると率こそ少ないものの、「たくさん先生の話を聞いた」(大学15.7%, 短大20.8%, 専門学校29.6%), 「たくさん先輩の話を聞くことができた」(同16.3%, 22.1%, 23.6%), 「先生の説明がわかりやすかった」(同11.5%, 21.2%, 29.6%), 「参加後に手紙や電話をもらった」(同4.2%, 7.9%, 16.4%)といった項目でも、大学進学者の評価は専門学校進学者より、項目によっては短大進学者よりもかなり低い。前述の大学進学者がイベ

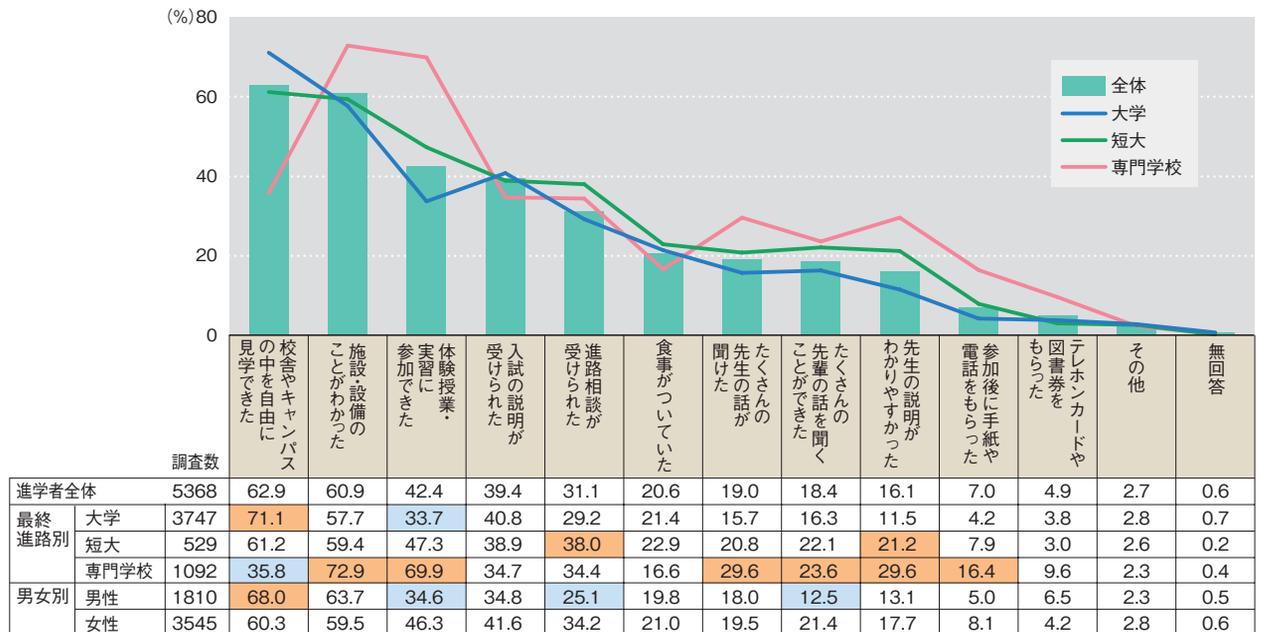
ントで知りたかった「学校で勉強できる内容」(64.3%)「在校生の様子や雰囲気」(59.3%)に比べ、大学進学者の評価が短大進学者や専門学校進学者の評価を上回っている項目は「校舎やキャンパスの中を自由に見学できた」「入試の説明が受けられ

た」の2つ。授業を体験させたり、施設・設備について見せるだけでなく、詳しい説明を加えたり、教員や在校生と話をする機会を設けたり、という点では専門学校や短大のほうが熱心に取り組んでいるということだろう。

図表18-1 進学先校 主催イベントの役立ち度 (進学者のうち進学先イベント参加者/単一回答)



図表18-2 進学先校 主催イベントのよかったところ (進学者のうち進学先イベント参加者/複数回答)



「進学者全体」より5ポイント以上高い 「進学者全体」より5ポイント以上低い ※「進学者全体」の降順ソート